

システム管理者ガイド

目次

商標	4
----------	---

マニュアルの見方	5
----------------	---

マークの意味	5
マニュアル記載の前提	5
OS表記	5
マニュアルのご注意	6

はじめに	7
------------	---

マニュアルの構成	7
マニュアルで使用する用語の定義	7

準備編	9
-----------	---

プリンター設定、管理の流れ	9
ネットワーク環境の例	10
プリンター接続設定の紹介	10
ネットワーク接続の準備	12
接続設定情報の収集	12
プリンター仕様	12
使用するポート番号	12
IPアドレスの割り当てタイプ	13
DNSサーバー、プロキシサーバーについて	13
ネットワーク接続設定方法の紹介	13

接続編	15
-----------	----

ネットワークに接続する	15
操作パネルでネットワークに接続する	15
インストーラーを使ってネットワークに接続する	23
Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続を使う	24
Wi-Fi Direct (シンプルAP) を有効にする	24

機能設定編	26
-------------	----

設定に使うソフトウェア	26
Web Config (デバイスのウェブページ)	26

印刷機能を使う	27
ネットワークで印刷するために必要なこと	27
サーバークライアント型接続でのプリンタードライバ設定	27
ピアツーピア型接続でのプリンタードライバ設定	32
システムの詳細を設定する	34
操作パネルの動作を設定する	34
無操作時の省電力設定をする	34
タイムサーバーと日付/時刻を同期する	35
印刷設定	35
Epson Connectサービスを使う	36

本体のセキュリティ編	37
------------------	----

本体のセキュリティ機能の紹介	37
管理者パスワードの設定	38
操作パネルから管理者パスワードを設定する	38
Web Configから管理者パスワードを設定する	40
管理者パスワードでロックされる項目	41
外部インターフェイスの制限を設定する	41
利用するプロトコルを制御する	42
プロトコルを制御する	42
有効・無効が設定可能なプロトコル	42
プロトコルの設定項目	43
プリンターとのSSL/TLS通信	45
使用できる電子証明書	45
CA署名証明書の取得とインポート	46
CA署名証明書を削除する	50
自己署名証明書を更新する	50

運用・管理編	52
--------------	----

デバイスの情報を確認する	52
デバイスの管理 (Epson Device Admin)	52
ファームウェアのアップデート	53
操作パネルを使ってプリンターのファームウェアを更新する	53
Web Configでファームウェアをアップデートする	54
Epson Firmware Updaterを使ってファームウェアをアップデートする	55
設定のバックアップ	55
設定をエクスポートする	55

設定をインポートする	56
トラブルを解決する	57
トラブルを解決するための情報	57
サーバーやネットワーク機器のログの確認	57
設定の初期化	57
Web Configから無線LANを無効にする	57
Web ConfigからWi-Fi Direct (シンプルAP) を無効にする	58
操作パネルから無線LANを無効にする	58
操作パネルからWi-Fi Direct(シンプルAP) 接 続を無効にする	58
操作パネルからネットワーク設定を初期の状態 に戻す	59
デバイスとコンピューターの接続を確認する ...	59
コンピューターとの接続をPingで確認する - Windows	59
コンピューターとの接続をPingで確認する - Mac OS	60
ネットワーク接続診断レポートを印刷する	62
ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方 法	63
E-1	63
E-2、E-3、E-7	64
E-5	64
E-6	65
E-8	65
E-9	66
E-10	66
E-11	67
E-12	67
E-13	68
ネットワーク環境に関するメッセージ	68
ネットワークステータスシートを印刷する	68
ソフトウェア使用時のトラブル	69
Web Configにアクセスできない	69
EpsonNet Configで製品名やIPアドレスが表 示されない	70
クラウドサービス使用時のトラブル	70
クラウドサービスを利用できなくなった	70
セキュア環境への接続時のトラブル	71
セキュアIPP印刷のポートが作成できない	71
電子証明書使用時のトラブル	71
CA署名証明書のインポートができない	71
自己署名証明書が更新できない	72
CSRが作成できない	72
証明書に関する警告が表示された	72
CA署名証明書を誤って削除した	74

付録	75
ネットワーク関連のソフトウェア	75
Epson Device Admin	75
EpsonNet Config	75
EpsonNet Print (Windowsのみ)	76
EpsonNet SetupManager	76
EpsonNet ConfigでIPアドレスを設定する	76
一括でIPアドレスを設定する	77
IPアドレスを個別に設定する	79
操作パネルを使って無線LANに接続する (WPS)	80
プッシュボタンで自動設定する (AOSS/WPS) ...	81
PINコードで設定する(WPS)	81
接続方法を変更する	82
有線LANから無線LANへの接続変更	82
無線LANから有線LANへの接続変更	83
プリンターが使用するポート	84
操作パネルの管理者用設定メニュー	85

商標

- EPSONおよびEXCEED YOUR VISIONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Chrome、Chrome OS、AndroidはGoogle Inc.の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、Mac、macOS、OS X、Bonjour、ColorSync、Safari、AirPrint、iPad、iPhone、iPod touch、iTunesは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。“iPhone”の商標は日本国内においてアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

マニュアルの見方

マークの意味

⚠ 注意 この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

！重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、本製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

参考 補足情報や参考情報を記載しています。

関連情報

➡ 関連したページにジャンプします。

マニュアル記載の前提

- プリンタードライバーの画面はWindows 10またはOS X El Capitanでの画面を使用しています。表示内容は機種や状況によって異なります。
- イラストは一例です。機種によって多少異なりますが、操作方法はほぼ同じです。
- 画面の設定項目は、機種や設定状況によって異なります。

OS表記

Windows

本書では、以下のOS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 10」「Windows 8.1」「Windows 8」「Windows 7」「Windows Vista」「Windows XP」「Windows Server 2016」「Windows Server 2012 R2」「Windows Server 2012」「Windows Server 2008 R2」「Windows Server 2008」「Windows Server 2003 R2」「Windows Server 2003」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows® 10 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 8.1 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 8 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版

- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2016 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版

Mac OS

本書では、以下のOS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「macOS Sierra」「OS X El Capitan」「OS X Yosemite」「OS X Mavericks」「OS X Mountain Lion」「Mac OS X v10.7.x」「Mac OS X v10.6.8」の総称として「Mac OS」を使用しています。

マニュアルのご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適當に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

© 2019 Seiko Epson Corporation

はじめに

マニュアルの構成

本書はデバイス管理者向けに、プリンターのデバイスのネットワーク接続や、プリンターをユーザーが使用できるまでの設定を記載しています。
ユーザーが操作する機能は『ユーザーズガイド』をご覧ください。

準備編

デバイス管理者が行うことやデバイスの設定、管理をするためのソフトウェアを説明しています。

接続編

デバイスをネットワークに接続する方法を説明しています。デバイスが使用するポートやDNS、プロキシサーバーの情報など接続環境についても説明しています。

機能設定編

各機能を使用するための始めに設定する項目を説明しています。

本体のセキュリティー編

管理者パスワードの設定やプロトコルの制御など、本体でできるセキュリティー設定を説明しています。

運用・管理編

デバイス使用開始後の情報確認やメンテナンスの方法などを説明しています。

トラブルを解決する

設定の初期化とネットワークでのトラブルシューティングを説明しています。

マニュアルで使用する用語の定義

本書では以下の用語を使用しています。

システム管理者

企業や組織などでデバイスやネットワークに関する設置や、設定をする権限を持つ人を指しています。小規模な組織ではネットワーク管理者、デバイス管理者を兼ねているケースがあります。大規模な組織では、部や課といった組織のグループ内のネットワークや機器に関しての権限を持つ人を指していて、インターネットなど組織外への通信設定の権限はネットワーク管理者が担います。

ネットワーク管理者

企業や組織などでネットワーク通信の制御を担当している人を指しています。ルーターやプロキシサーバー、DNSサーバー、メールサーバーなど、インターネットやネットワーク間の通信を制御している人です。

はじめに

ユーザー（利用者）

プリンターやスキャナーなどのデバイスを使用するエンドユーザーを指しています。

サーバークライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）

プリンターをWindowsサーバーにネットワークまたはUSBケーブルなどで接続し、サーバーで設定したプリントキューを共有する接続を指しています。プリンターとコンピュータの通信はサーバーを経由し、プリンターの制御をサーバーで行います。

ピアツーピア型接続（直接印刷）

プリンターとコンピュータがハブやアクセスポイントなどでネットワークに接続されていて、コンピュータから直接プリンターに印刷を実行する接続を指しています。

Web Config（デバイスのウェブページ）

デバイスに内蔵しているウェブサーバーです。Web Config（ウェブ コンフィグ）と表記しています。ネットワークからブラウザを使ってデバイスの情報確認や設定ができます。

プリントキュー

Windowsの場合、［デバイスとプリンター］にあるプリンターやスキャナーなど、ポートごとに作られるアイコンを指しています。1台のプリンターでもStandard TCP/IPやWSDなどネットワークに接続しているそれぞれのポートにアイコンが作成されます。

ツール

Epson Device Admin（エプソン デバイス アドミン）やEpsonNet Config（エプソンネット コンフィグ）、EpsonNet SetupManager（エプソンネット セットアップマネージャー）など、デバイスの設定や管理を行うソフトウェアの総称として使用しています。

ASCII（アスキー、American Standard Code for Information Interchange）

標準的な文字コードの一つです。アルファベット（a-z、A-Z）やアラビア数字（0-9）、記号、空白文字、制御文字などを収録した128文字が規定されています。本書で「ASCII文字」と表記している場合、下表にある0x20～0x7E（16進数）を指し、制御文字は含みません。

SP*	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

* 空白文字（スペース）です。

Unicode (UTF-8)

国際的な文字コード規格です。世界中の主な言語で主に使われる文字をカバーしています。「UTF-8」とある場合、UTF-8形式で符号化した文字を指します。

準備編

この章では、システム管理者の役割や設定前の準備などを紹介しています。

プリンター設定、管理の流れ

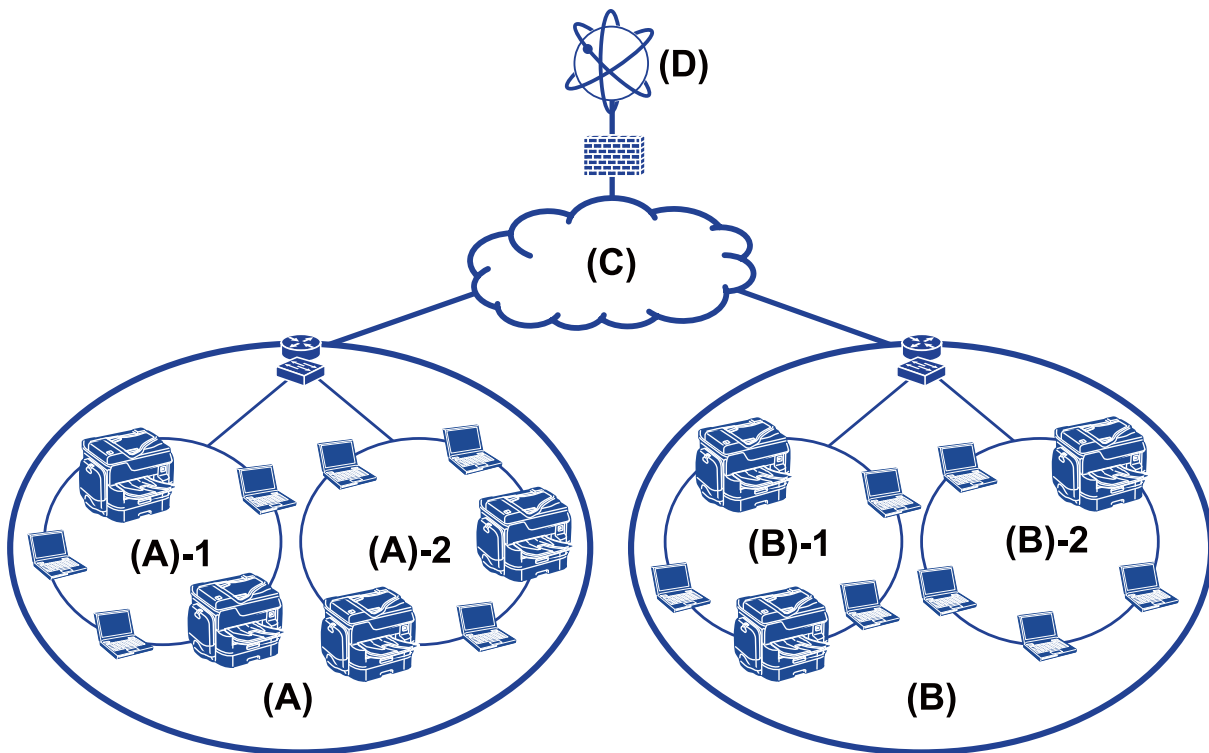
システム管理者はユーザーがプリンターを使用できるように、ネットワークへの接続、初期設定、メンテナンスなどをします。

1. 準備する
 - 接続設定情報の収集
 - 接続形態の決定
2. 接続する
 - プリンターの操作パネルを使ったネットワーク接続
3. 機能を設定する
 - プリンタードライバーの設定
 - Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続設定
 - その他の詳細設定
 - クラウドサービス設定
4. セキュリティー設定をする
 - 管理者設定
 - SSL/TLS
 - プロトコル制御
5. 運用、管理する
 - デバイスの状況確認
 - イベント発生への対応
 - デバイス設定のバックアップ

関連情報

- ➡ [「準備編」 9ページ](#)
- ➡ [「接続編」 15ページ](#)
- ➡ [「機能設定編」 26ページ](#)
- ➡ [「本体のセキュリティ編」 37ページ](#)
- ➡ [「運用・管理編」 52ページ](#)

ネットワーク環境の例



(A) : オフィス1

- (A) -1 : LAN1
- (A) -2 : LAN2

(B) : オフィス2

- (B) -1 : LAN1
- (B) -2 : LAN2

(C) : WAN

(D) : インターネット

プリンター接続設定の紹介

プリンターのネットワーク接続は主に以下の2つのタイプがあります。どちらもプリンターを直接ネットワークに接続します。

- サーバークライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）
- ピアツーピア型接続（直接印刷）

関連情報

- ➡ [「サーバークライアント型接続設定」 11ページ](#)
- ➡ [「ピアツーピア型接続設定」 11ページ](#)

サーバクライアント型接続設定

接続方法：

プリンターをハブやアクセスポイントを介して直接ネットワークに接続します。
プリンターとサーバーをUSBケーブルで直接接続することもできます。

プリンタードライバー：

Windowsサーバー上に、各クライアントコンピューターのOSにおけるシステムの種類に対応したドライバーをインストールします。

Windowsサーバーにアクセスしてプリンターをリンクすると、クライアントコンピューターにインストールされて使用できるようになります。

特徴：

- プリンターやプリンタードライバーを一括管理できます。
- 全ての印刷データはサーバーを経由するため、サーバーの能力によっては印刷開始までに時間がかかることがあります。
- Windowsサーバーが停止していると印刷できません。

関連情報

➡ [「マニュアルで使用する用語の定義」7ページ](#)

ピアツーピア型接続設定

接続方法：

プリンターをハブやアクセスポイントを介して直接ネットワークに接続します。

プリンタードライバー：

プリンタードライバーをコンピューターにインストールします。

EpsonNet SetupManagerを使ったパッケージ配布や、Windowsサーバーのグループポリシーを使って自動配信ができます。

特徴：

- プリンターに直接印刷データを送るので、印刷開始までに時間がかかりません。
- プリンターが稼働していれば印刷できます。

関連情報

➡ [「マニュアルで使用する用語の定義」7ページ](#)

ネットワーク接続の準備

接続設定情報の収集

ネットワーク接続にはIPアドレスやゲートウェイアドレスなどが必要です。事前に以下の情報を確認してください。

区分	項目	備考
デバイス接続方法	- 有線LAN - 無線LAN (Wi-Fi)	有線LAN接続にはカテゴリ 5e 以上の STP (Shielded Twisted Pair) ケーブルを使用してください。
LAN接続情報	- IPアドレス - サブネットマスク - デフォルトゲートウェイ	ルーターのDHCP機能でIPアドレスを自動で割り当てる場合は不要です。
無線LAN接続情報	- SSID - パスワード	以下に対応しています。 - 準拠規格：802.11b/g/n - 無線セキュリティ：WEP (64/128bit) 、WPA-PSK (TKIP) 、WPA2-PSK (AES)
DNSサーバー情報	- プライマリーDNSのIPアドレス - セカンダリーDNSのIPアドレス	以下のいずれかの場合は、DNSサーバーを設定してください。 - 固定のIPアドレスを使う場合 - DHCP機能でIPアドレスを自動割り当てしていて、DNSサーバーを自動設定できない場合
プロキシサーバー情報	- プロキシサーバー名 - 使用するポート番号	インターネット接続にプロキシサーバーを利用して、Epson Connectサービスやファームウェアの自動更新機能などを利用する場合は設定してください。

プリンター仕様

プリンターが対応している規格や接続モードなどの仕様は『ユーザズガイド』をご覧ください。

使用するポート番号

プリンターが使用するポート番号の情報は「付録」をご覧ください。

関連情報

➡ [「プリンターが使用するポート」 84ページ](#)

IPアドレスの割り当てタイプ

プリンターのIPアドレス割り当てには以下のタイプがあります。

固定IPアドレス：

あらかじめ決めた固有のIPアドレスをプリンターに割り当てます。

プリンターやルーターの電源を切ってもIPアドレスは変更されないで、IPアドレスによる管理ができます。

多数のプリンターを管理する大規模オフィスや学校などのネットワークにお勧めします。

DHCP機能による自動割り当て：

プリンターを接続し、DHCP機能を提供しているルーターなどの機器と正常に通信できれば、正しいIPアドレスが自動で割り当てられます。

IPアドレスが変わると都合が悪いデバイスには、IPアドレスを予約して同じIPアドレスを割り当てることができます。

参考 プリントキューのポート指定は、EpsonNet Print Port（エプソンネット プリント ポート）などIPアドレスを自動追従できるプロトコルを選択します。

DNSサーバー、プロキシサーバーについて

インターネット接続するサービスを利用するときは、DNSサーバーを設定してください。設定しないと名前の解決ができないため、アクセス先をIPアドレスで指定する必要があります。

プロキシサーバーはネットワークとインターネットとの出入口に配置され、コンピューターやプリンターとインターネット（相手サーバー）の代理でそれぞれのデバイスと通信します。相手サーバーはプロキシサーバーとだけ通信しているように見えます。よって、プリンターに設定されているIPアドレスやポート番号などの情報を読み取れなくなり、セキュリティの向上が期待できます。

また、プロキシサーバーは通信の内容を見ることができるので、フィルタリング機能で特定のURLへのアクセスを禁止できます。

ネットワーク接続設定方法の紹介

プリンターのIPアドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなどのネットワーク接続は、以下のような方法で設定します。

操作パネルを使う：

プリンターの操作パネルを使って個別に設定します。プリンターの接続設定をしてからネットワークに接続します。

インストーラーを使う：

インストーラーを使用すると、プリンターのネットワーク設定やクライアントコンピューターの設定を自動でできます。インストーラーの指示に従っていくと設定できるので、ネットワークに関する深い知識がなくても接続できます。サーバークライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）でサーバーとプリンターの設定をしたり、少数のクライアントコンピューターを設定したりする場合にお勧めします。

ツールを使う：

システム管理者のコンピューターからツールを使って設定します。プリンターを探索して設定したり、設定用SYLKファイルを作成して一括で設定したりできます。大量のプリンターを設定できますが、設定前にLANケーブルで物理的に接続する必要があります。設定用の有線LANを構築できる場合にお勧めの方法です。

関連情報

- ➡ [「操作パネルでネットワークに接続する」 15ページ](#)
- ➡ [「インストーラーを使ってネットワークに接続する」 23ページ](#)
- ➡ [「EpsonNet ConfigでIPアドレスを設定する」 76ページ](#)

接続編

この章では、プリンターをネットワークに接続するための環境や手順について説明しています。

ネットワークに接続する

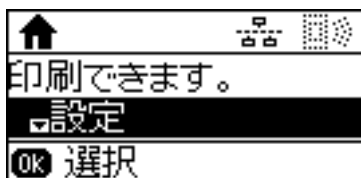
操作パネルでネットワークに接続する

プリンターの操作パネルを使って、プリンターをネットワークに接続します。
操作パネルの詳細説明は『ユーザズガイド』をご覧ください。

IPアドレスを設定する

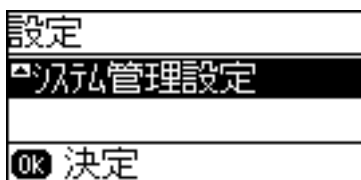
IPアドレスやサブネットマスク、デフォルトゲートウェイなど、基本的なIPアドレス設定をします。

1. プリンターの電源を入れます。
2. 操作パネルのホーム画面で「設定」を選択します。

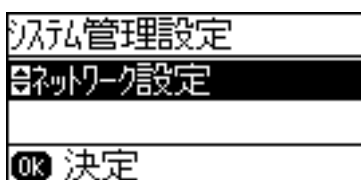


参考 操作パネルの画面が消えている場合は、いずれかのボタンを押すと表示されます。

3. 「システム管理設定」を選択します。



4. 「ネットワーク設定」を選択します。



5. 「ネットワーク詳細設定」を選択します。

ネットワーク設定
▢ネットワーク詳細設定
Ok 決定

6. 「TCP/IPアドレス」を選択します。

ネットワーク詳細設定
▢TCP/IPアドレス
自動
Ok 決定

7. 「手動」を選択します。

ネットワーク詳細設定
TCP/IPアドレス
▢手動
Ok 次へ

IPアドレスをルーターなどのDHCP機能で自動設定する場合は自動にします。その場合は、手順8、9の「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」も自動設定になるので入力できません。手順10へ進んでください。

8. IPアドレスを入力します。

▲または▼ボタンで入力できます。

ネットワーク詳細設定
IPアドレス
192.000.002.111
Ok 決定

9. 同様に「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を設定します。

！重要 IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの組み合わせが不正の場合は、エラーメッセージが表示され、設定を続けることができません。入力に間違いがないか確認してください。

10. OKボタンを押して終了します。

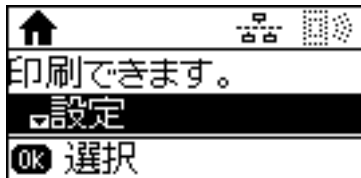
必要に応じて↵ボタンを数回押してホーム画面に戻ります。↵ボタンを押さなくても、無操作の状態ですら一定時間が経過するとホーム画面に戻ります。

DNSサーバーを設定する

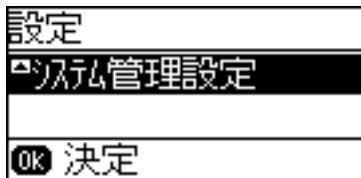
DNSサーバーを設定します。[TCP/IPアドレス] を[手動] に設定した場合に、DNSサーバーのアドレスを設定してください。

1. 操作パネルのホーム画面で[設定] を選択します。

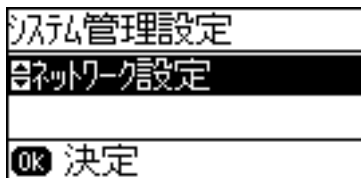
参考 操作パネルの画面が消えている場合は、いずれかのボタンを押すと表示されます。



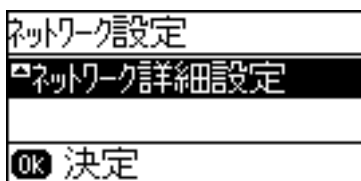
2. [システム管理設定] を選択します。



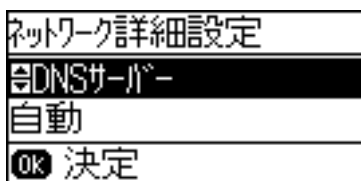
3. [ネットワーク設定] を選択します。



4. [ネットワーク詳細設定] を選択します。



5. [DNSサーバー] を選択します。



6. DNSサーバーのアドレスの取得方法を選択します。

IPアドレスを〔自動〕にすると、DNSサーバー設定は〔手動〕、〔自動〕を選択できます。DNSサーバーのアドレスを自動取得できない場合に〔手動〕を選択して、DNSサーバーのIPアドレスを入力してください。

7. 〔手動〕を選択した場合は、プライマリーDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

▲または▼ボタンで入力できます。◀と▶ボタンでカーソルが移動します。

ネットワーク詳細設定
プライマリーDNSサーバーアドレス 192.000.002.255
OK カーソル移動

8. セカンダリーDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

▲または▼ボタンで入力できます。◀と▶ボタンでカーソルが移動します。

ネットワーク詳細設定
セカンダリーDNSサーバーアドレス 192.000.002.245
OK 決定

9. OKボタンを押して終了します。

必要に応じて↵ボタンを数回押してホーム画面に戻ります。↵ボタンを押さなくても、無操作の状態で一定時間が経過するとホーム画面に戻ります。

プロキシサーバーを設定する

プロキシサーバーを利用している場合は、プロキシサーバーを設定してください。

1. 操作パネルのホーム画面で〔設定〕を選択します。

参考 操作パネルの画面が消えている場合は、いずれかのボタンを押すと表示されます。

  
印刷できます。
設定
OK 選択

2. 「システム管理設定」を選択します。

設定
☒ システム管理設定
☐ OK 決定

3. 「ネットワーク設定」を選択します。

システム管理設定
☒ ネットワーク設定
☐ OK 決定

4. 「ネットワーク詳細設定」を選択します。

ネットワーク設定
☒ ネットワーク詳細設定
☐ OK 決定

5. 「プロキシサーバー」を選択します。

ネットワーク詳細設定
☒ プロキシサーバー
☐ 使用しない
☐ OK 決定

6. 「使用する」を選択します。

ネットワーク詳細設定
☐ プロキシサーバー
☒ 使用する
☐ OK 次へ

7. プロキシサーバーのアドレスをIPv4アドレスまたはFQDN形式で入力します。

 ボタンで入力する文字種を切り替えできます。▲または▼ボタンで入力できます。◀と▶ボタンでカーソルが移動します。

ネットワーク詳細設定	a
プロキシサーバー名	
www.sample.proxy	
OK	決定

8. プロキシサーバーのポート番号を入力します。
9. OKボタンを押して終了します。

必要に応じて↶ボタンを数回押してホーム画面に戻ります。↶ボタンを押さなくても、無操作の状態ですべての項目が経過するとホーム画面に戻ります。

IPアドレスの設定を確認する

設定したIPアドレスを確認します。

1. 操作パネルのホーム画面で「設定」を選択します。

 **参考** 操作パネルの画面が消えている場合は、いずれかのボタンを押すと表示されます。

  
印刷できます。
設定
OK 選択

2. 「ネットワーク情報」を選択します。

ネットワーク設定
ネットワーク情報
OK 決定

3. 「有線・無線接続状態」を選択します。

ネットワーク情報
有線・無線接続状態
OK 決定

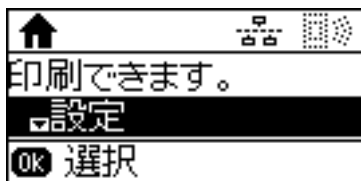
4. ▼ボタンを押して、設定した項目を一つずつ確認します。
5. 確認が終わったら◀ボタンを複数回押してホーム画面に戻ります。

有線LANで接続する

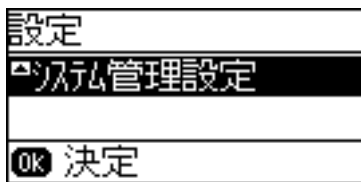
LANケーブルでネットワークに接続して、接続の確認をします。

1. プリンターとハブ（L2スイッチ）をLANケーブルで接続します。
2. 操作パネルのホーム画面で「設定」を選択します。

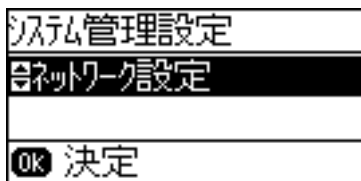
参考 操作パネルの画面が消えている場合は、いずれかのボタンを押すと表示されます。



3. 「システム管理設定」を選択します。



4. 「ネットワーク設定」を選択します。



5. 「ネットワーク接続診断」を選択します。

接続診断の結果が表示されます。正常に接続されていることを確認してください。

6. 「終了」を選択します。

「診断結果を印刷」を選択すると診断結果を印刷できます。

7. ◀ボタンを複数回押してホーム画面に戻ります。

関連情報

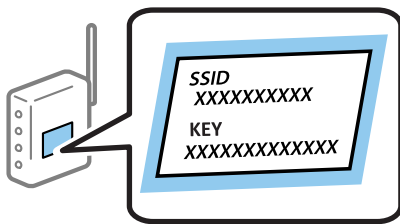
➡ [「有線LANから無線LANへの接続変更」82ページ](#)

操作パネルから無線LAN（Wi-Fi）を手動で設定する

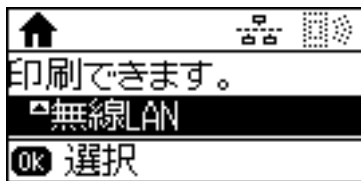
アクセスポイントに接続するための情報をプリンターの操作パネルから手動で設定する方法です。手動で設定するには、アクセスポイントのSSIDとパスワードの情報が必要です。

アクセスポイント（無線LANルーター）がWPSやAOSSに対応していると、SSIDやパスワードを使わずにプッシュボタンやPINコードで無線LAN接続設定することもできます。

参考 アクセスポイントをメーカー設定値のまま使用している場合は、ラベルなどに書かれているSSIDとパスワードが設定されています。SSIDとパスワードがわからない場合はアクセスポイントを設定した人に確認するか、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。



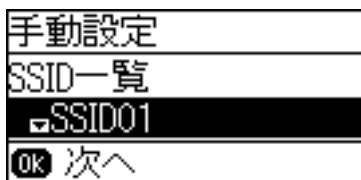
1. 操作パネルのホーム画面で「無線LAN」を選択します。



2. 「手動設定」を選択します。



3. 表示されたSSIDの一覧から接続したいネットワーク（SSID）を選択します。



- 参考**
- プリンターの操作パネルに接続したいSSIDが表示されない場合は、 ボタンを押して一覧を更新してください。それでも表示されないときは、「その他のSSID」を選択し、SSIDを直接入力してください。
 - SSIDがわからない場合はアクセスポイントのラベルに書かれていないかを確認してください。アクセスポイントをメーカー設定値のまま使用している場合は、ラベルに書かれているSSIDを使用します。

4. パスワードを入力します。

 ボタンで入力する文字種を切り替えられます。▲または▼ボタンで入力できます。◀と▶ボタンでカーソルが移動します。

SSID01	[A]
パスワード入力	
XXXXXXXX	
OK 決定	

参考

- パスワードは大文字と小文字を区別して入力してください。
- パスワードがわからない場合はアクセスポイントのラベルに書かれていないかを確認してください。アクセスポイントをメーカー設定値のまま使用している場合は、ラベルに書かれているパスワードを使用します。パスワードは「パスフリーズ」や「暗号化キー」などとも呼ばれます。
- アクセスポイントのSSIDとパスワードはアクセスポイントを設定した人に確認するか、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

5. ▼ボタンを押し、設定内容を確認して、OKボタンを押します。

設定確認
通信モード
インフラストラクチャー
OK 設定

6. OKボタンを押して終了します。

〔診断結果を印刷〕を選択すると診断結果を印刷できます。

インフォメーション
設定終了
終了
OK 決定

関連情報

- ➡ 「操作パネルを使って無線LANに接続する (WPS)」 80ページ
- ➡ 「無線LANから有線LANへの接続変更」 83ページ

インストーラーを使ってネットワークに接続する

プリンターとコンピューターを接続設定するにはインストーラーを使うと便利です。インストーラーは以下のいずれかの方法で起動できます。

- ウェブサイトから設定
以下のウェブサイトアクセスして、製品名を入力します。〔セットアップ〕に進んで作業を開始します。
<http://epson.sn>

- ソフトウェアディスクで設定（製品にソフトウェアディスクが同梱されていて、それを使用できる場合）
ソフトウェアディスクをコンピューターにセットし、画面の指示に従って操作します。

接続方法を選択する

インストーラーの画面の指示に従って操作します。

以下の画面が表示されたら、接続方法を選択して「次へ」をクリックします。



Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続を使う

管理者が許可している場合、Wi-Fi Direct（シンプルAP）機能を使うと、スマートフォンやタブレットなどから、プリンターが接続されているネットワークを経由せずにプリンターに直接接続できます。

スマートフォンやタブレットなどからNFCを使う場合も、Wi-Fi Direct（シンプルAP）を有効にする必要があります。

Wi-Fi Direct（シンプルAP）を有効にする

- Web Configで「ネットワーク」タブ - 「Wi-Fi Direct」を選択します。
- 「Wi-Fi Direct」を「有効」にします。
- 「次へ」をクリックします。
- 「設定」をクリックします。

ネットワークが再起動されて、Wi-Fi Direct（シンプルAP）が有効になります。



「削除」をクリックすると、Wi-Fi Direct（シンプルAP）で接続したデバイスの登録情報を削除できます。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 27ページ](#)

機能設定編

この章では、デバイスの各機能を使うために始めに設定する部分の説明をしています。

設定に使うソフトウェア

ここではWeb Configを使って、システム管理者のコンピューターから設定する手順を中心に紹介します。

Web Config（デバイスのウェブページ）

Web Configの概要

Web Configはプリンターの設定確認や変更がブラウザー上でできるアプリケーションソフトです。
Web Configを使用するには、予めプリンターにIPアドレスを設定しておく必要があります。

参考 プリンターに管理者パスワードを設定すると、管理者以外が設定を変更できないようにロックできます。



Web Configの起動

ネットワーク上のコンピューターやデバイスからブラウザを起動して、プリンターのIPアドレスを入力します。ブラウザのJavaScriptを有効にしてください。HTTPSアクセス時にプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、Web Configを起動するとブラウザに警告が表示されます。

- HTTPSアクセス
IPv4 : https://プリンターのIPアドレス
IPv6 : https://[プリンターのIPアドレス]
- HTTPアクセス
IPv4 : http://プリンターのIPアドレス
IPv6 : http://[プリンターのIPアドレス]

記入例

- IPv4:
https://192.0.2.111/
http://192.0.2.111/
- IPv6:
https://[2001:db8::1000:1]/
http://[2001:db8::1000:1]/

 **参考** DNSにプリンター名を登録すると、IPアドレスの代わりにプリンター名が使用できます。

関連情報

- ➡ [「プリンターとのSSL/TLS通信」 45ページ](#)
- ➡ [「使用できる電子証明書」 45ページ](#)

印刷機能を使う

プリンターの印刷機能を使用できるようにします。

ネットワークで印刷するために必要なこと

ネットワークで印刷するには、以下の対応が必要です。
これらはプリンタードライバーとOSの機能を使って設定します。

- プリンタードライバーのインストール
- コンピューターへのプリントキューの作成
- ネットワーク用のポート設定

サーバクライアント型接続でのプリンタードライバー設定

プリントサーバーのコンピューターから印刷できるように設定してから、プリンターを共有します。

プリントサーバーにはプリントサーバー用とクライアントコンピューター用のプリンタードライバーを一緒にインストールします。

インストーラーを使用すると、プリンターのネットワークやコンピューターとの接続設定、ドライバーのインストールやプリントキューの生成などを自動で行います。

Standard TCP/IPポートを設定する - Windows

プリントサーバー上でStandard TCP/IPポートを設定して、ネットワーク印刷用のプリントキューを作成します。

1. デバイスとプリンターの画面を開きます。

- Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンを右クリックまたは長押しして、[コントロールパネル] - [デバイスとプリンター] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド]（または [ハードウェア]） - [デバイスとプリンター] の順に選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックして、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド]（または [ハードウェア]） - [デバイスとプリンター] の順に選択します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックして、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンター] の順に選択します。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックして、[コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] の順に選択します。

2. プリンターを追加します。

- Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2016/Windows Server 2012 R2/
Windows Server 2012
[プリンターの追加] をクリックして、表示される画面で [探しているプリンターはこの一覧にはありません] を選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
[プリンターの追加] をクリックします。
- Windows Vista/Windows Server 2008
[プリンタのインストール] をクリックします。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
[プリンタのインストール] をクリックして、表示される画面で [次へ] をクリックします。

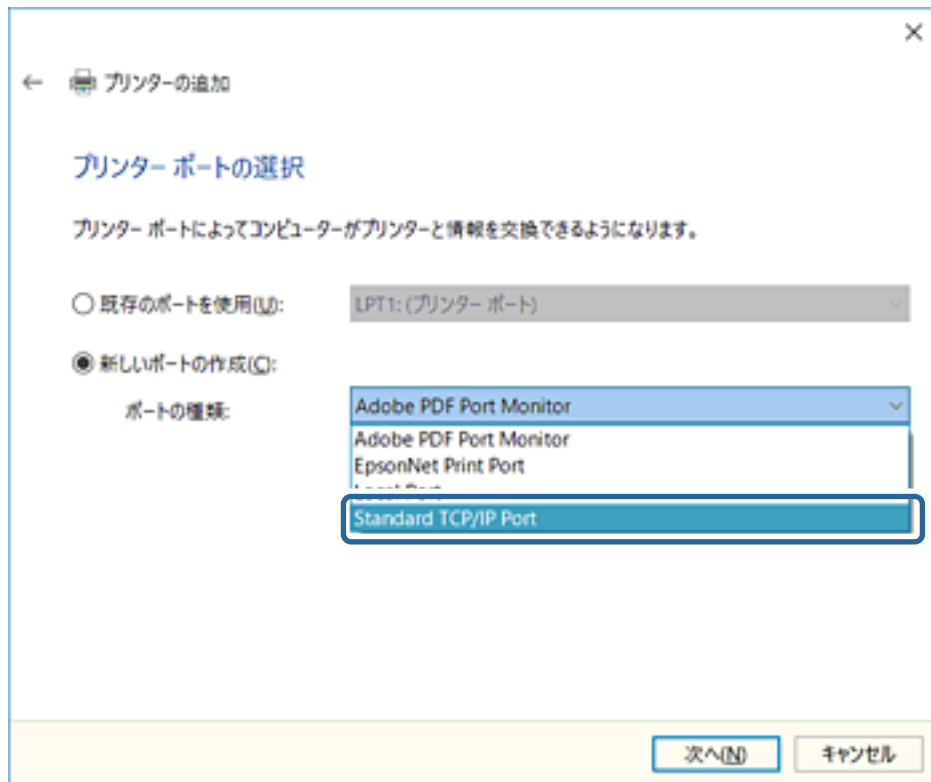
3. ローカルプリンターを追加します。

- Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2016/Windows Server 2012 R2/
Windows Server 2012
[ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する] を選択して、[次へ] をクリックします。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2/Windows Vista/Windows Server 2008
[ローカルプリンターを追加します] をクリックします。

- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
[このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択して、表示される画面で [次へ] をクリックします。

4. [新しいポートの作成] を選択し、ポートの種類から [Standard TCP/IP Port] を選択して、[次へ] をクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003の場合、続いて表示される [標準TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード] で [次へ] をクリックしてください。



5. [ホスト名またはIP アドレス] (または [プリンタ名またはIP アドレス]) にプリンター名、またはプリンターのIP アドレスを入力して、[次へ] をクリックします。

[ポート名] は変更しないでください。

[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたときは [続行] をクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003の場合、続いて表示される[標準TCP/IP プリンタポート] 画面で[完了] をクリックしてください。

参考 名前前で検索が可能なネットワークでプリンター名を指定した場合は、DHCPによってプリンターのIPアドレスが変更になっても追従ができます。プリンター名は、操作パネルのネットワーク情報表示またはネットワークステータスシートで確認できます。

6. プリンタードライバーを設定します。

- プリンタードライバーがインストールされている場合
[製造元] - [プリンター] を選択します。[次へ] をクリックします。
- プリンタードライバーがインストールされていない場合
[ディスク使用] をクリックして、プリンターに付属のソフトウェアディスクをセットします。[参照] をクリックして、ディスクドライブのプリンタードライバーが格納されているフォルダーを指定します。正しいフォルダーを指定してください。OS環境により指定するフォルダーが異なります。
32bit版Windows : WINX86
64bit版Windows : WINX64

7. この後は、画面の指示に従って操作します。

Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003の場合、以上で終了です。Windows Vista/Windows Server 2008以降の場合、続いてポート構成を確認してください。

サーバークライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）でプリンターを使用する場合は、続いてプリンターを共有設定します。

関連情報

➡ [「プリンターを共有する \(Windowsのみ\)」](#) 31ページ

ポート構成を確認する - Windows

プリントキューに適切なポートが設定されているか確認します。

1. デバイスとプリンターの画面を開きます。

- Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンを右クリックまたは長押しして、[コントロールパネル] - [デバイスとプリンター] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド]（または [ハードウェア]） - [デバイスとプリンター] の順に選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックして、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド]（または [ハードウェア]） - [デバイスとプリンター] の順に選択します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックして、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンター] の順に選択します。

2. プリンターのプロパティ画面を開きます。

- Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Server 2016/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2
対象プリンターのアイコンを右クリックして、[プリンターのプロパティ] をクリックします。
- Windows Vista
対象プリンターのアイコンを右クリックして、[管理者として実行] - [プロパティ] の順に選択します。
- Windows Server 2008
対象プリンターのアイコンを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。

3. [ポート] タブをクリックし、[標準のTCP/IPポート] を選択して、[ポートの構成] をクリックします。

4. ポートの構成を確認します。

- RAWの場合
[プロトコル] で [Raw] が選択されていることを確認して、[OK] をクリックします。
- LPRの場合
[プロトコル] で [LPR] が選択されていることを確認します。[LPR 設定] の [キュー名] に「PASSTHRU」と入力します。[LPRバイトカウントを有効にする] をチェックして、[OK] をクリックします。

プリンターを共有する（Windowsのみ）

サーバークライアント型接続（Windowsサーバーによるプリンター共有）でプリンターを使用する場合は、プリントサーバーからプリンターを共有設定します。

1. プリントサーバーのコンピューターで [コントロールパネル] - [デバイスとプリンター] の順に選択します。
2. 共有したいプリンターアイコン（プリントキュー）を右クリックして、[プリンターのプロパティ] - [共有] タブを選択します。

3. 「このプリンターを共有する」を選択して、「共有名」を入力します。

Windows Server 2012をお使いの場合は、「共有オプションの変更」をクリックしてから設定してください。

追加ドライバーをインストールする（Windowsのみ）

プリントサーバーのコンピューターとクライアントコンピューターが異なるバージョンのWindowsで動作している場合、それぞれのバージョンのプリンタードライバーをプリントサーバーにインストールしておくことをお勧めします。

1. プリントサーバーのコンピューターで【コントロールパネル】 - 【デバイスとプリンター】の順に選択します。
2. 共有したいプリンターアイコン（プリントキュー）を右クリックして、【プリンターのプロパティ】 - 【共有】タブを選択します。
3. 【追加ドライバー】をクリックします。

Windows Server 2012をお使いの場合は、共有オプションの変更をクリックしてから設定してください。

4. クライアントコンピューターのWindowsバージョン（プロセッサタイプ）を選択して、OKをクリックします。
5. プリンタードライバーの情報ファイル（*.inf）を指定してドライバーをインストールします。

関連情報

➡ [「共有プリンターを使う - Windows」32ページ](#)

共有プリンターを使う - Windows

プリンターの管理者は、クライアントコンピューターへのプリンター追加手順としてプリントサーバーに設定したコンピューター名をクライアントに連絡してください。追加ドライバーが設定されていない環境では、【デバイスとプリンター】からプリンターを追加する手順を案内してください。

以下は、プリントサーバーに追加ドライバーが設定されている場合の手順です。

1. プリントサーバーのコンピューター名を【エクスプローラー】で開きます。
2. 利用したいプリンターをダブルクリックします。

関連情報

➡ [「プリンターを共有する（Windowsのみ）」31ページ](#)

➡ [「追加ドライバーをインストールする（Windowsのみ）」32ページ](#)

ピアツーピア型接続でのプリンタードライバー設定

ピアツーピア型接続（直接印刷）の場合、プリンターを使用するそれぞれのクライアントコンピューターにドライバーをインストールします。

関連情報

➡ 「プリンタードライバーを設定する」 33ページ

プリンタードライバーを設定する

小規模なネットワークの場合、それぞれのクライアントコンピュータでプリンタードライバーをインストールすることをお勧めします。エプソンのウェブサイトまたはソフトウェアディスクからインストーラーを起動します。

参考 たくさんのクライアントコンピュータからプリンターを使用する場合は、EpsonNet SetupManagerを使ってドライバーをパッケージして配布すると、インストール作業を大幅に軽減できます。

1. インストーラーを起動します。

- ウェブサイトから起動する
以下のウェブサイトアクセスして、製品名を入力します。[セットアップ] に進み、ソフトウェアをダウンロードして起動します。
<http://epson.sn>
- ソフトウェアディスクから起動する（製品にソフトウェアディスクが同梱されていて、それを使用できる場合のみ）
ソフトウェアディスクをコンピュータにセットします。

2. 接続方法を選択して、[次へ] をクリックします。



参考 [インストールソフトウェア選択] 画面が表示されたら、[接続方法の再設定] を選択して [次へ] をクリックしてください。

3. この後は、画面の指示に従って操作します。

関連情報

➡ [「EpsonNet SetupManager」 76ページ](#)

システムの詳細を設定する

操作パネルの動作を設定する

プリンターの操作パネルに関する設定をします。以下の設定ができます。

1. Web Configで【デバイス管理】タブ - 【パネル】を選択します。
2. 必要に応じて以下の項目を設定します。
 - 表示言語
操作パネルの表示言語を選択します。
 - パネルロック
【オン】にすると、操作パネルでシステム管理者権限が必要な操作を行う場合に管理者パスワードの入力を求められます。管理者パスワードを設定していないとパネルロックは無効になります。
3. 【設定】をクリックします。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 27ページ](#)

無操作時の省電力設定をする

プリンターの操作パネルが一定時間操作されなかった場合に、節電モードへ移行する時間と自動で電源を切る時間を設定できます。使用する環境に合わせて時間を設定してください。

1. Web Configで【デバイス管理】タブ - 【省電力】を選択します。
2. 【節電移行時間】に操作パネル無操作時に節電モードへ移行する時間を設定します。



プリンターの操作パネルからも設定できます。
【設定】 - 【本体設定】 - 【基本設定】 - 【スリープ移行時間設定】

3. 【自動電源オフ時間】に電源が切れるまでの時間を選択します。



プリンターの操作パネルからも設定できます。
【設定】 - 【本体設定】 - 【基本設定】 - 【自動電源オフ】

4. 【設定】をクリックします。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 27ページ](#)

タイムサーバーと日付/時刻を同期する

CA証明書を使っている場合は連携すると時間に関するトラブルを防げます。

印刷枚数で課金されるシステムでプリンターを使用している場合は、システムが時間を管理しているので、タイムサーバーと連携する必要はありません。

1. Web Configで【デバイス管理】タブ - 【日付/時刻】 - 【タイムサーバー】を選択します。
2. 【タイムサーバーを使用する】を【使用する】にします。
3. 【タイムサーバーアドレス】にタイムサーバーのアドレスを入力します。
IPv4、IPv6アドレスまたはFQDNが使用できます。252文字以内で入力します。指定しない場合は空白にします。
4. 【更新間隔（分）】を入力します。
1分単位で10,800分まで設定できます。
5. 【設定】をクリックします。



【タイムサーバーステータス】でサーバーとの接続状態を確認できます。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 27ページ](#)

印刷設定

給紙装置設定

各給紙装置にセットする用紙のサイズや種類などを設定します。

エラー設定

デバイス本体のエラー表示に関する設定をします。

- 用紙サイズエラー
指定された給紙装置の用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なる場合に、操作パネルにエラーを表示するかどうか設定します。
- 用紙種類エラー
指定された給紙装置の用紙タイプと、印刷データの用紙タイプが異なる場合に、操作パネルにエラーを表示するかどうか設定します。
- 自動エラー解除
エラーを表示してから5秒間操作パネルの操作がなかった場合に、自動でエラーを解除するかどうか設定します。

外部機器(PC)印刷設定

外部機器からプリンタードライバーを経由しない印刷をするときの設定をします。

Epson Connectサービスを使う

インターネットを利用したEpson Connect（エプソン コネクト）サービスを使うと、コンピューターやスマートデバイスからいつでもどこからでも印刷できます。

インターネットを利用したサービスは以下の通りです。

メールプリント	Epson iPrintリモートプリント	リモートプリントドライバー
✓	✓	✓

詳しくはEpson Connectのポータルサイトをご覧ください。

<https://www.epsonconnect.com/>

本体のセキュリティ編

この章では、デバイス本体のセキュリティ設定について説明しています。

本体のセキュリティ機能の紹介

エプソンデバイス本体のセキュリティ機能を紹介します。

機能名	どんな機能が	何を設定するのか	何を防止できるのか
管理者パスワードの設定	ネットワークやUSBの接続設定、ユーザーデフォルト設定など、システムに関わる設定をロックし、管理者以外は変更ができないようにします。	システム管理者がデバイスにパスワードを設定します。Web Config、操作パネル、Epson Device Admin、EpsonNet Configのどこからでも設定や変更ができます。	デバイスに保持されているIDやパスワード、ネットワーク設定等の情報が不正に参照または変更されるのを防ぎます。また、ネットワーク環境やセキュリティポリシーまたはそれらに類する情報の漏えいなど、広範囲のセキュリティリスクにつながる危険性を低減します。
外部インターフェイス設定	USBポートやNFCポートなどデバイス本体へ接続するインターフェイスを制御できます。	外部機器を接続するUSBポート、NFC、コンピューターとのUSB接続の有効、無効を設定します。	- NFC：NFCを使った不正な印刷を防止できます。 - コンピューターのUSB接続：ネットワークを経由しない印刷を禁止することで、デバイスの不正使用を防止できます。
プロトコルの制御	印刷などのデバイスやコンピューター間の通信で使用するプロトコルやサービスを制御して、機能を有効、無効にします。	機能に対応したプロトコルやサービスを個別に許可、禁止します。	不要な機能を使用できなくすることで、意図されない利用によるセキュリティリスクを軽減できます。
SSL/TLS通信	ブラウザー経由でのコンピューターとの通信やEpson Connect、ファームウェアアップデートなどデバイスからインターネット上のエプソンサーバーにアクセスするような場合に通信内容がSSL/TLS通信で暗号化されます。	CA署名証明書をCA局から取得し、プリンターにインポートします。	CA署名証明書によってデバイスの身分が明確になることで、なりすましや不正アクセスを防げます。また、通信内容がSSL/TLSによって保護されるため、設定情報や印刷データ内容の漏えいが防げます。

関連情報

- ➡ [「Web Configの概要」 26ページ](#)
- ➡ [「EpsonNet Config」 75ページ](#)
- ➡ [「Epson Device Admin」 75ページ](#)
- ➡ [「管理者パスワードの設定」 38ページ](#)
- ➡ [「外部インターフェイスの制限を設定する」 41ページ](#)

管理者パスワードの設定

管理者パスワードを設定すると、管理者以外がシステム管理に関する設定を変更できなくなります。管理者パスワードは Web Config、操作パネル、ソフトウェア（Epson Device Admin、EpsonNet Config）のいずれからでも設定、変更ができます。ツールの操作方法はそれぞれのマニュアルをご覧ください。

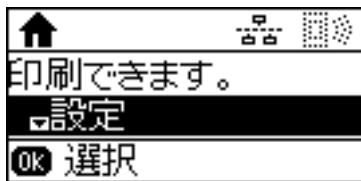
関連情報

- ➡ [「操作パネルから管理者パスワードを設定する」 38ページ](#)
- ➡ [「Web Configから管理者パスワードを設定する」 40ページ](#)
- ➡ [「EpsonNet Config」 75ページ](#)
- ➡ [「Epson Device Admin」 75ページ](#)

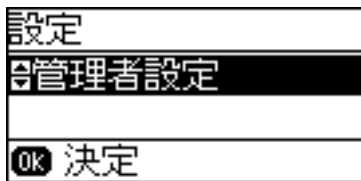
操作パネルから管理者パスワードを設定する

プリンターの操作パネルから管理者パスワードを設定をします。

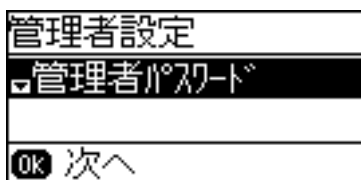
1. 操作パネルのホーム画面で「設定」を選択します。



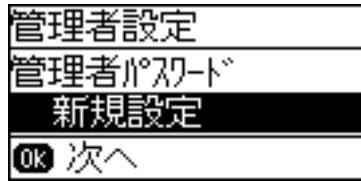
2. 「管理者設定」を選択します。



3. 「管理者パスワード」を選択します。

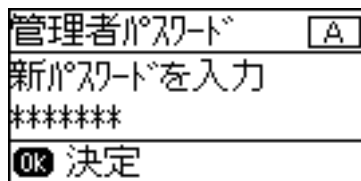


4. 「新規設定」を選択します。



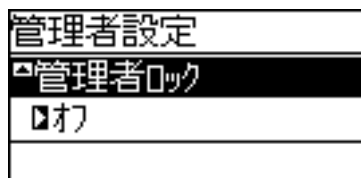
参考 管理者パスワードが設定されている場合は、「新規設定」が「変更」に変わります。

5. 管理者パスワードを入力します。

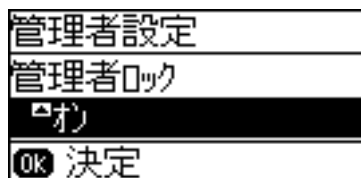


 ボタンで入力する文字種を切り替えできます。▲または▼ボタンで入力できます。◀と▶ボタンでカーソルが移動します。

6. パスワードを再入力します。
7. OKボタンを押して終了します。
8. 「管理者ロック」を選択します。



9. 「オン」を選択します。



10. OKボタンを押して終了します。

ロックされたメニュー項目を操作しようとする管理者パスワードの入力を求められるようになります。

11. ◀ボタンを複数回押してホーム画面に戻ります。

参考

- 管理者パスワードは、[設定] - [管理者設定] - [管理者パスワード] から、[変更] や [初期化] を選択して、管理者パスワードを入力すると変更や削除ができます。
- Web Configの [システム設定] - [パネル] - [節電移行時間] を [オン] にすると、一定時間操作オアネルを操作しない場合に自動でログオフしてホーム画面に戻ります。

Web Configから管理者パスワードを設定する

Web Configを使って管理者パスワードを設定します。

- Web Configで [本体セキュリティ] タブ - [管理者パスワード変更] を選択します。
- [新しいパスワード] と [新しいパスワードの確認] にパスワードを入力します。必要に応じてユーザー名を入力します。

パスワードを変更するには、現在のパスワードを入力します。

- [設定] を選択します。

参考

- ロックされている項目を設定、変更するには [管理者ログオン] をクリックして管理者パスワードを入力します。
- 管理者パスワードを削除するには、[本体セキュリティ] タブ - [管理者パスワード削除] をクリックして管理者パスワードを入力します。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 27ページ](#)

管理者パスワードでロックされる項目

システム管理者はデバイスにおける全機能の設定や、変更の権限を持っています。

また、デバイスに管理者パスワードを設定すると、ネットワーク設定や利用者制限などデバイス管理に関わる項目を変更できないようにロックできます。

システム管理者が制御できる項目は以下の通りです。

アイテム	説明
メンテナンス情報 (Web Configのみ)	総印刷ページ数や用紙サイズ、カラー／モノクロ、両面/片面それぞれの印刷ページ数などの情報確認。
プリンターの設定	エラー発生時の動作設定など。
無線LAN、有線LAN接続設定	デバイス名やIPアドレスの変更、DNSサーバーやプロキシサーバーの設定など、ネットワーク接続に関する設定変更。
利用サービスの設定	通信プロトコルの制御やWi-Fi Directなどのサービス設定。
セキュリティ設定	SSL/TLS通信などネットワークセキュリティに関する設定。
クラウドサービス接続設定	Epson Connectサービスや他社クラウドサービスの接続設定。また、クラウドサービスに必要なルート証明書の更新。
ファームウェアアップデート	デバイスのファームウェアの更新確認とアップデート。
時間、タイマー設定	スリープ移行時間、自動電源オフ、日付/時刻など、タイマーに関する設定。
本体情報の送信設定	印刷カウンターの情報送信の設定。
パスワード印刷ジョブの全削除	パスワード印刷のジョブを全て削除する設定。
初期設定に戻す	プリンターの設定を工場出荷時の状態にする設定。
管理者設定	管理者ロックや管理者パスワードの設定。

外部インターフェイスの制限を設定する

コンピューターからのUSB 接続を制限できます。ネットワーク経由以外の印刷を制限する場合に設定します。

参考 プリンターの操作パネルからも設定できます。

1. Web Configで【本体セキュリティ】タブ - 【外部インターフェイス】を選択します。

2. [有効] または [無効] を選択します。

制限する場合は [無効] に設定します。

3. [設定] をクリックします。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 27ページ](#)

利用するプロトコルを制御する

プリンターに印刷する場合、いろいろな経路やプロトコルから印刷できます。

使わない機能やプロトコル、サービスを無効にすることで意図しない経路からの不正なアクセスや印刷などのセキュリティリスクを軽減できます。

プロトコルを制御する

プリンターが対応している制御可能なプロトコルの設定をします。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティ] タブ - [プロトコル] を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. [次へ] をクリックします。
4. [設定] をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

有効・無効が設定可能なプロトコル

プロトコル	説明
Bonjour設定	Bonjourを使用するかを指定できます。Bonjourは機器の検索や印刷（AirPrint）などに使われます。
SLP設定	SLP機能の有効・無効が設定できます。SLPはエプソンプリンターではEpsonNet Configでのネットワーク探索に使われます。
WSD設定	WSD機能の有効・無効が設定できます。WSDデバイスの追加やWSDポートからの印刷ができるようになります。
LLTD設定	LLTDの有効・無効が設定できます。有効にするとWindowsのネットワークマップに表示されるようになります。
LLMNR設定	LLMNRの有効・無効が設定できます。有効にするとDNSが使えない状況でもNetBIOSを使用せずに名前解決ができるようになります。

本体のセキュリティー編

プロトコル	説明
LPR設定	LPR印刷を許可するかを指定できます。有効にするとLPRポートからの印刷ができるようになります。
RAW (Port9100) 設定	RAWポート (Port9100) からの印刷を許可するかを指定できます。有効にするとRAWポート (Port9100) からの印刷ができるようになります。
IPP設定	IPPからの印刷を許可するかを指定できます。有効にするとインターネット経由の印刷 (AirPrintを含む) ができるようになります。

プロトコルの設定項目

プロトコル

※各プロトコルのデバイス名、Bonjour名を変更するには、ネットワーク基本のデバイス名を変更してください。
各プロトコルのロケーションを変更するには、ネットワーク基本のロケーションを変更してください。

Bonjour設定

☒ Bonjourを使用する

Bonjour名: EPSON local

Bonjourサービス名: EPSON

ロケーション:

優先先プロトコル: IPP

SLP設定

☒ SLP機能を有効にする

WSD設定

☒ WSDを有効にする

印刷タイムアウト(秒): 300

スキャンタイムアウト(秒): 300

デバイス名: EPSON

ロケーション:

LLTD設定

☒ LLTDを有効にする

デバイス名: EPSON

LLNMR設定

☒ LLNMRを有効にする

次へ

項目	設定値と説明
Bonjour設定	
Bonjourを使用する	チェックを入れるとBonjourで機器を検索または使用することを許可します。この項目を無効にするとAirPrintが使用できなくなります。
Bonjour名	Bonjour名が表示されます。
Bonjourサービス名	Bonjourサービス名が表示されます。

本体のセキュリティー編

項目	設定値と説明
ロケーション	Bonjourのロケーションが表示されます。
最優先プロトコル	Bonjour印刷の最優先プロトコルを選択します。
SLP設定	
SLP機能を有効にする	チェックを入れるとSLP機能が有効になります。EpsonNet Configでのネットワーク探索に使われます。
WSD設定	
WSDを有効にする	チェックを入れるとWSDによるデバイス追加が有効になります。
印刷タイムアウト (秒)	WSD印刷の通信タイムアウト時間を3～3600秒の範囲で入力します。
デバイス名	WSDのデバイス名が表示されます。
ロケーション	WSDのロケーションが表示されます。
LLTD設定	
LLTDを有効にする	チェックを入れるとLLTDが有効になります。有効にするとWindowsのネットワークマップに表示されるようになります。
デバイス名	LLTDのデバイス名が表示されます。
LLMNR設定	
LLMNRを有効にする	チェックを入れるとLLMNRが有効になります。有効にするとDNSが使えない状況でもNetBIOSを使用せずに名前解決ができるようになります。
LPR設定	
LPRポートからの印刷を許可する	チェックを入れるとLPRポートからの印刷を許可します。
印刷タイムアウト (秒)	LPR印刷の通信のタイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。
RAW (Port9100) 設定	
RAWポート(Port9100)からの印刷を許可する	チェックを入れるとRAWポート (Port9100) からの印刷を許可します。
印刷タイムアウト (秒)	RAW (Port9100) 印刷の通信タイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。
IPP設定	
IPPを有効にする	チェックを入れるとIPP通信が有効になります。IPPをサポートしているプリンターのみ表示されます。この項目を無効にするとAirPrintが使用できなくなります。
非セキュア通信を許可する	チェックを入れると非セキュア (IPP) で通信します。

項目	設定値と説明
通信タイムアウト（秒）	IPP印刷の通信のタイムアウト時間を0～3600秒の範囲で入力します。「0」はタイムアウトなしを表します。
URL（ネットワーク）	有線LAN、または無線LANで接続されている場合にIPPのURL（httpとhttps）が併記されます。URLはプリンターのIPアドレスとポート番号とIPPのプリンター名が組み合わされた値です。
URL（Wi-Fi Direct）	Wi-Fi Directで接続されている場合にIPPのURL（httpとhttps）が併記されます。URLはプリンターのIPアドレスとポート番号とIPPのプリンター名が組み合わされた値です。
プリンター名	IPPのプリンター名が表示されます。
ロケーション	IPPのロケーションが表示されます。

プリンターとのSSL/TLS通信

SSL/TLS（Secure Sockets Layer/Transport Layer Security）通信でプリンターにサーバー証明書を設定して、コンピューターとの通信経路を暗号化できます。なりすましや不正アクセスを防ぎたいときに設定してください。

使用できる電子証明書

- CA署名証明書
認証機関（CA局）によって署名された証明書は、CA局に申請して発行してもらいます。信頼性のあるCA局の証明書を使用すると、データ通信の安全が確保できます。CA署名証明書は、取得した各セキュリティ機能だけでなく、他の機能でも使用できます。
- CA証明書
CA署名証明書のチェーンやチェーン内の証明書です。接続相手サーバーの検証に使用できます。相手サーバーの証明書を発行したCA局から入手します。
- 自己署名証明書
プリンターが自ら発行し署名した証明書です。証明書としては信頼性がなく、なりすましは防げません。また、SSL通信をすると、ブラウザからセキュリティ警告が出ることがあります。自己署名証明書はSSL通信のみで使用できます。

関連情報

- ➡ [「CA署名証明書の取得とインポート」 46ページ](#)
- ➡ [「CA署名証明書を削除する」 50ページ](#)
- ➡ [「自己署名証明書を更新する」 50ページ](#)

CA署名証明書の取得とインポート

CA署名証明書を取得する

CA署名証明書を取得するにはCSR（証明書発行要求）を生成し、CA局に申請します。CSRはWeb Configかコンピューターで生成してください。

ここではWeb Configから取得する方法を説明します。Web Configで生成したCSRの証明書はPEM/DER形式です。

1. Web Configで【ネットワークセキュリティ】タブ - 【SSL/TLS】 - 【証明書】を選択します。

2. 【生成】の【CSR】をクリックします。

CSR生成画面が開きます。

3. 各項目を設定します。



対応している公開鍵長や省略の可否はCA局によって異なる場合があります。申請するCA局のルールに従って記載してください。

4. 【設定】をクリックします。

インポートされると完了メッセージが表示されます。

5. 【ネットワークセキュリティ】タブ - 【SSL/TLS】 - 【証明書】の順に選択します。

6. CA局規定のファイル形式に従い【CSR】のダウンロードボタンをクリックして、CSRをコンピューターにダウンロードします。



再度CSRを生成しないでください。交付されたCA署名証明書がインポートできなくなります。

7. 保存したCSRをCA局に送付し、CA署名証明書を入手します。

送付方法や送付形態は、CA局の規定に従ってください。

8. 入手したCA署名証明書を、プリンターに接続しているコンピューターに保存します。

指定場所にCA署名証明書ファイルが保存されたら完了です。

CSRの設定項目

EPSON L3110 Series

情報確認 印刷 スキャン/コピー ファクス ネットワーク ネットワークセキュリティー 本体セキュリティー デバイス管理 Epson Open Platform

SSL/TLS > 証明書

公開鍵長: RSA 2048bit - SHA-256

コモンネーム: EPSON2000, EPSON2000@epson.com

組織名:

部署名:

市町村名:

都道府県名:

国コード:

設定 戻る

アイテム	設定値と説明
公開鍵長	CSRIに使用する公開鍵長を選択します。
コモンネーム	1～128文字以内で入力できます。IPアドレスを指定するときは、固定のIPアドレスを設定します。 設定例： Web ConfigにアクセスするURL：https://10.152.12.225 コモンネーム：10.152.12.225
組織名/ 部署名/ 市町村名/ 都道府県名	ASCII (0x20-0x7E)で表せる0～64文字以内で入力できます。ディスタングイッシュネーム（CN）はカンマで分割できます。
国コード	ISO-3166で規定している2文字の国コードを入力します。

関連情報

➡ [「CA署名証明書を取得する」46ページ](#)

CA署名証明書をインポートする

！重要

- プリンターの日付と時刻が正しく設定されていることを確認してください。
- Web Configで生成したCSRで証明書を取得した場合、証明書をインポートできるのは一度だけです。

1. Web Configで[ネットワークセキュリティ] タブ - [SSL/TLS] - [証明書] を選択します。

2. [インポート] をクリックします。

証明書インポート設定画面が開きます。

3. 各項目を設定します。

インポートの設定内容は、CSRの生成場所や証明書のファイル形式によって異なります。以下を参考にして入力が必要な項目を設定してください。

- Web Configから取得したPEM/DER形式の証明書
 - [秘密鍵]：プリンターで保持しているため設定しない
 - [パスワード]：設定しない
 - [CA証明書1] / [CA証明書2]：任意
- コンピューターから取得したPEM/DER形式の証明書
 - [秘密鍵]：設定する
 - [パスワード]：設定しない
 - [CA証明書1] / [CA証明書2]：任意
- コンピューターから取得したPKCS#12形式の証明書
 - [秘密鍵]：設定しない
 - [パスワード]：任意
 - [CA証明書1] / [CA証明書2]：設定しない

4. [設定] をクリックします。

インポートされると完了メッセージが表示されます。

参考

[表示] をクリックするとインポートした証明書の情報が確認できます。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 27ページ](#)

➡ [「CA署名証明書のインポート設定項目」 49ページ](#)

CA署名証明書のインポート設定項目

EPSON

LX-10000F Series

情報確認

印刷

スキャン/コピー

ファクス

ネットワーク

ネットワークセキュリティ

本体セキュリティ

デバイス管理

Epson Open Platform

プロトコル

相手サーバー検証用CA証明書

ルート証明書更新

SSL/TLS

基本

証明書

IPsecIPフィルタリング

基本

クライアント証明書

IEEE802.1X

基本

クライアント証明書

SSL/TLS > 証明書

サーバー証明書:

証明書 (PEM/DER)

参照...

ssl_rootcert.pem

秘密鍵:

参照...

key.pem

パスワード:

CA証明書1:

参照...

ca_1cert.pem

CA証明書2:

参照...

ca_2cert.pem

※証明書をインポートするときは、HTTPSで暗号化して送信することをお勧めします。

設定

戻る

アイテム	設定値と説明
サーバー証明書またはクライアント証明書	取得したCA署名証明書のファイル形式を選択し、ファイルを指定します。
秘密鍵	コンピュータで生成したCSRでPEM/DER形式の証明書を取得した場合、証明書と対になった秘密鍵ファイルを指定します。
パスワード	秘密鍵暗号化のためのパスワードを入力します。
CA証明書1	ファイル形式が「証明書（PEM/DER）」の場合、サーバー証明書を発行したCA局の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。
CA証明書2	ファイル形式が「証明書（PEM/DER）」の場合、「CA証明書1」を発行した機関の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。

関連情報

➡ 「CA署名証明書をインポートする」 48ページ

CA署名証明書を削除する

サービスが無効になった証明書や使用していない証明書は削除できます。

！重要

Web Configで生成したCSRで取得した証明書は、一度削除してしまうと再インポートができません。必要な場合はCSRを再生成して取得し直してください。。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティ] タブ - [SSL/TLS] - [証明書] を選択します。
2. [削除] をクリックします。
3. 確認のメッセージを確認して、削除します。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 27ページ](#)

自己署名証明書を更新する

HTTPSサーバー機能を搭載しているプリンターは自己署名証明書の更新ができます。自己署名証明書を使用すると、Web Configの起動時に警告のメッセージが表示されます。

自己署名証明書は、CA署名証明書を取得しインポートするまでの期間中一時的に使用することをお勧めします。

1. Web Configで [ネットワークセキュリティ] タブ - [SSL/TLS] - [証明書] を選択します。
2. [更新] をクリックします。
3. [コモンネーム] を入力します。

プリンターにアクセスするIPアドレスやFQDN名などの識別子を入力します。1～128文字以内で入力できます。



ディスティングイッシュネーム (CN)はカンマで分割できます。

4. 証明書の有効期間を選択します。

The screenshot shows the Epson Web Config interface for an L3110 Series printer. The top navigation bar includes tabs for 情報確認, 印刷, スキャン/コピー, ファクス, ネットワーク, ネットワークセキュリティー (selected), 本体セキュリティー, デバイス管理, and Epson Open Platform. The left sidebar lists various security settings: プロトコル, 相手サーバー検証用CA証明書, ルート証明書更新, SSL/TLS (selected), ↳基本, ↳証明書, IPsec/FILSA, ↳基本, ↳クライアント証明書, IEEE802.1X, ↳基本, ↳クライアント証明書. The main content area is titled 'SSL/TLS > 証明書' and contains a form with the following fields:

公開鍵長:	RSA 2048bit - SHA-256
コモンネーム:	EPSON[2016-12-15 07:43:31 UTC]
組織名:	SEIKO EPSON CORP.
有効期限開始日時 (UTC):	2016-12-15 07:43:31 UTC
有効期限 (年):	10

At the bottom of the form are two buttons: 次へ (Next) and 戻る (Back).

5. [次へ] をクリックします。

確認画面が表示されます。

6. [設定] をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

参考 [表示] をクリックするとインポートした証明書の情報が確認できます。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 27ページ](#)

運用・管理編

この章では、デバイスの日常的な運用や管理に関わる事項を説明しています。

デバイスの情報を確認する

Web Configの「情報確認」から、運用しているデバイスの以下の情報を確認できます。

- 製品情報
言語、ステータス、クラウドサービス、製造番号、MACアドレスなどが確認できます。
- ネットワーク情報
ネットワーク接続状態、IPアドレス、DNSなどネットワークに関する情報が確認できます。
- メンテナンス情報
初回印刷日、インク交換回数、印刷面数などを確認できます。
- ハードウェア情報
無線LANなどの各機能のステータスを確認できます。
- ジョブ履歴
印刷ジョブ、受信ジョブ、送信ジョブの履歴を確認できます。
- パネルのスナップショット
デバイスの操作パネルに表示されている画面イメージのスナップショットを表示します。

関連情報

➔ [「Web Configの起動」 27ページ](#)

デバイスの管理（Epson Device Admin）

Epson Device Adminを使うと多数のデバイスを管理、運用ができます。Epson Device Adminはルーターを越えた場所（別ネットワーク）にあるデバイスも管理ができます。主に以下の管理機能があります。
機能や操作の詳細はEpson Device Adminのマニュアルやヘルプをご覧ください。

- デバイスの探索
ネットワークにあるデバイスを探索して一覧に登録できます。同じネットワークに接続されているエプソン製デバイス（プリンターやスキャナー）ならば、IP アドレスが未設定でも発見できます。
また、ネットワークにあるコンピューターにUSBで接続されたデバイスも探索できます。コンピューターにはEpson Device USB Agent（エプソン デバイス USB エージェント）がインストールされている必要があります。
- デバイス設定
デバイスの詳細項目設定をテンプレートにして、デバイスに統一した設定値を適用できます。ネットワークに接続されていれば、IPアドレスが未設定のデバイスにIPアドレスを割り当てることができます。
- デバイスの監視
ネットワーク上のデバイスから定期的にデバイスの状態や詳細情報を収集できます。また、ネットワーク上のコンピューターにUSBで接続されたデバイスや、デバイスリストに登録した他社製のデバイスも監視できます。USB接続のデバイスを監視するには、コンピューターにEpson Device USB Agentがインストールされている必要があります。

- アラート管理

紙詰まり、用紙切れ、消耗品交換など、デバイスが出すアラートを監視できます。また、事前に条件を設定するとアラートが発生したときに自動で管理者へメールで通知できます。

- レポート管理

デバイスや消耗品の使用状況、印刷枚数などの情報を蓄積して定期的にレポートを作成できます。また、作成したレポートの保管やメールでの送信ができます。

関連情報

➡ [「Epson Device Admin」 75ページ](#)

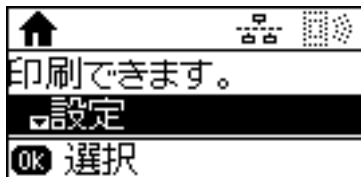
ファームウェアのアップデート

操作パネルを使ってプリンターのファームウェアを更新する

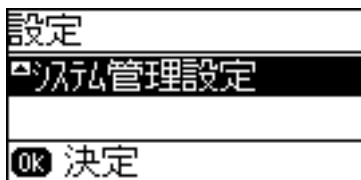
プリンターがインターネットに接続されていると、操作パネルでプリンターのファームウェアを更新できます。ファームウェアがあるかどうかを定期的に確認して、ある場合には通知するようにも設定できます。

！重要 更新中はプリンターの電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。プリンターが故障するおそれがあります。

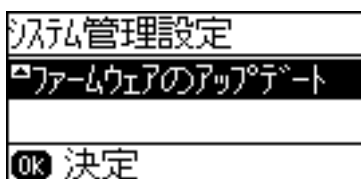
1. 操作パネルのホーム画面で【設定】を選択します。



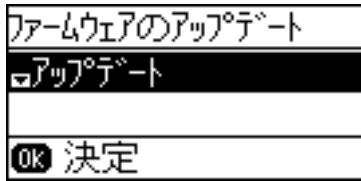
2. 【システム管理設定】を選択します。



3. 【ファームウェアのアップデート】を選択します。

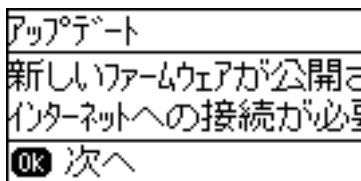


4. 「アップデート」を選択します。



参考 新しいファームウェアがあるかどうか定期的に確認したいときは、「ファームウェアのアップデート」 - 「定期通知設定」の項目を「オン」に設定します。

5. OKボタンを押します。



新しいファームウェアがあるかどうかの確認が始まります。

6. 新しいファームウェアが見つかったというメッセージが表示されたら、画面の指示に従ってファームウェアを更新します。

！重要

- ファームウェアの更新に失敗すると、次回電源を入れたときに「Recovery Mode」（リカバリーモード）と表示され、プリンターが動作しなくなります。コンピューターでファームウェアの更新をし直してください。
リカバリーモードになるとネットワーク接続での更新ができないため、以下の手順で作業してください。
1. エプソンのウェブサイトからファームウェアをダウンロードする
2. コンピューターとプリンターをUSBケーブルで接続する
3. ファームウェアを更新する
<http://www.epson.jp/support/>
詳しくはダウンロードページの「ファームウェアのアップデート方法」をご覧ください。

Web Configでファームウェアをアップデートする

Web Configからファームウェアをアップデートします。デバイスのインターネット接続が必要です。

- Web Configで「デバイス管理」タブ - 「ファームウェアアップデート」を選択します。
- 「確認開始」をクリックします。

ファームウェアの確認が始まり、更新されたファームウェアがあるとファームの情報が表示されます。

- 「開始」をクリックし、画面の案内に従って操作します。

参考 Epson Device Adminを使ってもファームウェアをアップデートできます。デバイス一覧でファームウェアの情報が確認ができます。この方法は、複数のデバイスのファームウェアをアップデートするのに便利です。詳細はEpson Device Adminのマニュアルやヘルプをご覧ください。

関連情報

- ➡ 「Web Configの起動」 27ページ
- ➡ 「Epson Device Admin」 75ページ

Epson Firmware Updaterを使ってファームウェアをアップデートする

コンピュータでエプソンのウェブサイトから機種用のファームウェアをダウンロードし、USBケーブルで接続してアップデートすることもできます。ネットワーク経由でアップアップデートができない場合に、この方法をお使いください。

1. エプソンのウェブサイトアクセスして、ファームウェアをダウンロードします。
<http://www.epson.jp/support/>
2. ファームウェアをダウンロードしたコンピュータとデバイスをUSBケーブルで接続します。
3. ダウンロードしたexeファイルをダブルクリックします。
Epson Firmware Updaterが起動します。
4. この後は、画面の指示に従って操作します。

設定のバックアップ

Web Configで設定項目をエクスポートすることで、設定項目を別のプリンターにコピーできます。

設定をエクスポートする

プリンターに設定されている個々の設定値をエクスポートします。

1. Web Configで「デバイス管理」タブ - 「設定のエクスポート/インポート」 - 「エクスポート」を選択します。
2. エクスポートしたい設定を選択します。
チェックが付いた項目の設定値がエクスポートされます。親のカテゴリを選択すると、子のカテゴリが同時に選択されます。ただし、IPアドレスなどネットワーク内に同じ設定値が複数あるとエラーになる項目は選択できないようになっています。
3. エクスポートファイルを暗号化するために任意のパスワードを入力します。
ここで指定したパスワードはインポートするときに必要になります。パスワードを指定しない場合は空白にします。

4. 「エクスポート」をクリックします。

！重要 デバイス名やIPv6アドレスなどのネットワーク情報を含めてエクスポートしたいときは「本体ごとの個別設定を選択可能にする」にチェックを付けて、項目を選択してください。なお、この項目をチェックしてから選択した設定値は、プリンターの置き換え時のみにお使いください。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 27ページ](#)

設定をインポートする

Web Configの設定ファイルをプリンターにインポートします。

！重要 プリンター名やIPアドレスなどの個別情報を含む設定値をインポートするときは、同一のネットワーク内に同じIPアドレスを持つプリンターが存在しないことを確認してください。IPアドレスが重複する場合は、インポートしても内容は反映されません。

1. Web Configで「デバイス管理」タブ - 「設定のエクスポート/インポート」 - 「インポート」を選択します。
2. エクスポートされたファイルを選択し、暗号化パスワードを入力します。
3. 「次へ」をクリックします。
4. インポートする設定を選択して「次へ」をクリックします。
5. 「設定」をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

トラブルを解決する

トラブルを解決するための情報

本書に記載されていないプリンターに関する情報は以下のマニュアル類をご覧ください。

- ユーザーズガイド
プリンターをコンピューターから使う方法やインクパックの交換方法、トラブルの解決方法が記載されています。
- Epson Connectページ
<https://www.epsonconnect.com/>
Epson Connectサービスの説明や設定方法、トラブルの解決方法などの情報があります。

サーバーやネットワーク機器のログの確認

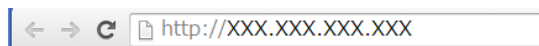
ネットワーク接続でのトラブル発生時は、ネットワーク機器のログ情報を確認したり、コマンドを使ってステータスを確認したりすると原因を特定できることがあります。

設定の初期化

Web Configから無線LANを無効にする

Web Configを使うには、プリンターと機器にIPアドレスが設定されていて、同じネットワークに接続されている必要があります。

1. プリンターのIPアドレスを確認します。
操作パネルのネットワーク情報画面やネットワーク接続診断レポート、またはネットワークステータスシートの「IP Address」の項目で確認してください。
2. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。



3. 「ネットワーク」タブ - 「無線LAN」の順に選択して、「無効にする」を選択します。
4. メッセージを確認して、「OK」を選択します。

Web ConfigからWi-Fi Direct（シンプルAP）を無効にする

Web Configを使うには、プリンターと機器にIPアドレスが設定されていて、同じネットワークに接続されている必要があります。

1. プリンターのIPアドレスを確認します。

操作パネルのネットワーク情報画面やネットワーク接続診断レポート、またはネットワークステータスシートの「IP Address」の項目で確認してください。

2. ブラウザーにプリンターのIPアドレスを入力してWeb Configを起動します。



3. [ネットワーク] タブ - [Wi-Fi Direct] の順に選択します。
4. [Wi-Fi Direct] の [無効] を選択します。
5. [次へ] をクリックします。
6. メッセージを確認して、[設定] を選択します。

操作パネルから無線LANを無効にする

無線LAN（Wi-Fi）接続時に無線LANを無効にすると、無線接続が切断されます。

1. ホーム画面で [設定] を選択します。
2. [システム管理設定] - [ネットワーク設定] - [無線LAN設定] を選択します。
3. [無線LANを無効にする] を選択します。
4. メッセージを確認して、▲ボタンを押します。
5. OKボタンを押します。

OKボタンを押さなくても、しばらくすると画面は切り替わります。

操作パネルからWi-Fi Direct(シンプルAP) 接続を無効にする

参考 Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続で複数のコンピューターやスマートデバイスがプリンターと接続されていた場合、Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続を無効にすると、全ての接続が切断されます。特定の機器だけを切断したいときは、スマートデバイス側から接続を切断してください。

1. ホーム画面で [設定] を選択します。

2. 「システム管理設定」 - 「ネットワーク設定」 - 「無線LAN設定」 - 「Wi-Fi Direct設定」の順に選択します。
3. 「無効設定」を選択します。
4. メッセージを確認して▲ボタンを押します。
5. OKボタンを押します。
OKボタンを押さなくても、しばらくすると画面は切り替わります。

操作パネルからネットワーク設定を初期の状態に戻す

ネットワーク設定全てを購入時の設定に戻します。

1. ホーム画面で「設定」を選択します。
2. 「システム管理設定」 - 「初期設定に戻す」 - 「ネットワーク設定」を選択します。
3. メッセージを確認して▲ボタンを押します。
4. OKボタンを押します。
OKボタンを押さなくても、しばらくすると画面は切り替わります。

デバイスとコンピューターの接続を確認する

コンピューターとの接続をPingで確認する - Windows

Pingを使ってコンピューターとプリンターに通信ができているか確認します。以下の手順で接続を確認してください。

1. 接続を確認したいプリンターのIPアドレスを確認します。
操作パネルのネットワーク情報画面やネットワーク接続診断レポート、またはネットワークステータスシートの「IP Address」の項目で確認してください。
2. コンピューターのコマンドプロンプトを表示します。
 - Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンを右クリックまたは長押しして、「コマンドプロンプト」を選択します。
 - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
アプリ画面を表示して、「コマンドプロンプト」を選択します。
 - Windows 7/Windows Server 2008 R2/Windows Vista/Windows Server 2008以前
スタートボタンをクリックして「すべてのプログラム」または「プログラム」 - 「アクセサリ」 - 「コマンドプロンプト」の順に選択します。

3. 「ping xxx.xxx.xxx.xxx」と入力して、Enterキーを押します。

xxx.xxx.xxx.xxxにはプリンターのIPアドレスを入れてください。

4. 通信状況を確認します。

プリンターとコンピューターが通信できていると以下のように表示されます。

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.10586]
(c) 2015 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\>ping XXX.XXX.XX.X

XXX.XXX.XX.Xに ping を送信しています 32 バイトのデータ:
XXX.XXX.XX.X からの応答: バイト数 =32 時間 =150ms TTL=64
XXX.XXX.XX.X からの応答: バイト数 =32 時間 =71ms TTL=64
XXX.XXX.XX.X からの応答: バイト数 =32 時間 =85ms TTL=64
XXX.XXX.XX.X からの応答: バイト数 =32 時間 =63ms TTL=64

XXX.XXX.XX.X の ping 統計:
    パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0 (0% の損失)、
    ラウンド トリップの概算時間 (ミリ秒):
        最小 = 63ms、最大 = 150ms、平均 = 92ms

C:\>_
```

プリンターとコンピューターが通信できていないと以下のように表示されます。

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 10.0.10586]
(c) 2015 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\>ping XXX.XXX.XX.X

XXX.XXX.XX.Xに ping を送信しています 32 バイトのデータ:
XXX.XXX.XX.X からの応答: 宛先ホストに到達できません。
XXX.XXX.XX.X からの応答: 宛先ホストに到達できません。
XXX.XXX.XX.X からの応答: 宛先ホストに到達できません。
XXX.XXX.XX.X からの応答: 宛先ホストに到達できません。

XXX.XXX.XX.X の ping 統計:
    パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0 (0% の損失)、

C:\>_
```

コンピューターとの接続をPingで確認する - Mac OS

Pingを使ってコンピューターとプリンターの通信ができていないか確認します。以下の手順で接続を確認してください。

トラブルを解決する

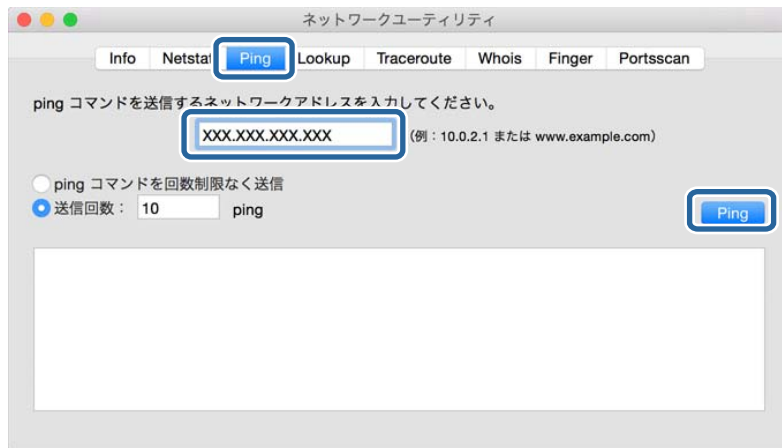
1. 接続を確認したいプリンターのIPアドレスを確認します。

操作パネルのネットワーク情報画面やネットワーク接続診断レポート、またはネットワークステータスシートの「IP Address」の項目で確認してください。

2. ネットワークユーティリティを起動します。

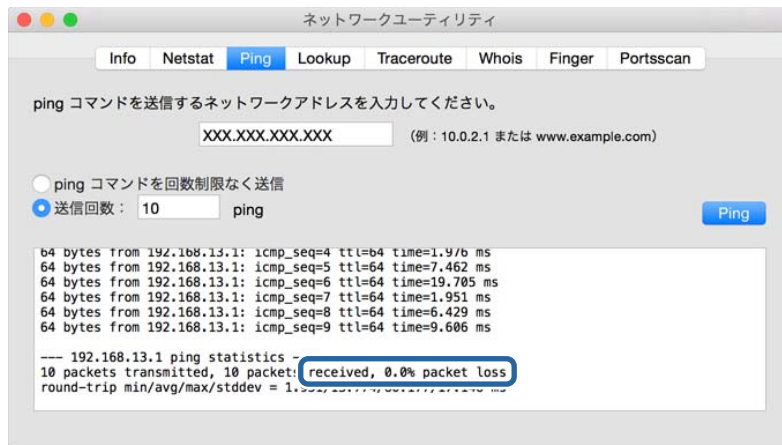
[Spotlight] で「ネットワークユーティリティ」と入力して検索してください。

3. [Ping] タブをクリックし、手順1で確認したIPアドレスを入力して、[Ping] をクリックします。



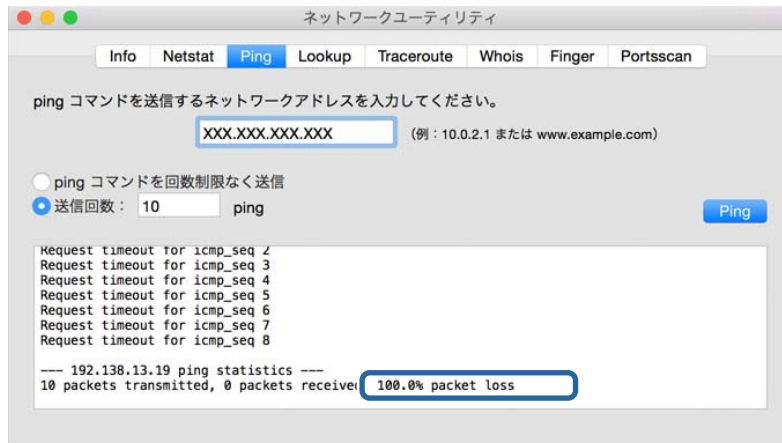
4. 通信状況を確認します。

プリンターとコンピューターが通信できていると以下のように表示されます。



トラブルを解決する

プリンターとコンピューターが通信できていないと以下のように表示されます。



ネットワーク接続診断レポートを印刷する

プリンターとアクセスポイントの接続状態を確認するために、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。

1. 印刷用紙をセットします。
2. ホーム画面で「設定」を選択します。
3. 「システム管理設定」 - 「ネットワーク設定」 - 「ネットワーク接続診断」を選択します。
4. 「診断結果を印刷」を選択して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。

エラーがある場合はネットワーク接続診断レポートの内容を確認して対処してください。

関連情報

➡ [「ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法」63ページ](#)

ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法

ネットワーク接続診断レポートのメッセージとエラー番号を確認して対処してください。

ネットワーク接続診断レポート

診断結果 NG

エラー番号 (E-7)

以下のネットワーク設定情報を確認し、“ネットワーク (SSID)” が無線接続したいSSIDかを確認してください。
正しければパスワードを確認し、設定し直してください。

何らかのトラブルが発生したときは、マニュアル等をご覧の上、対処してください。

診断項目

指定のネットワーク (SSID) の有無の確認	OK
無線モードの確認	OK
セキュリティ方式の確認	OK
MACアドレスフィルタリング設定の確認	OK
パスワードの確認	NG
IPアドレスの確認	未診断
IP詳細設定の確認	未診断

ネットワーク設定情報

プリンター名	EPSON XXXXXX
プリンター型番	XX-XXX Series
IPアドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	
ネットワーク (SSID)	XXXXXXXXXX
無線セキュリティ設定	WPA2-PSK (AES)
電波状態	悪い
MACアドレス	XX-XX-XX-XX-XX-XX

a. エラー番号

b. ネットワーク環境に関するメッセージ

E-1

メッセージ：

ネットワークケーブルの接続と、ネットワーク機器の電源を確認してください。

対処方法：

- LAN ケーブルがプリンターやハブなどのネットワーク機器にしっかり差し込まれているか確認してください。
- ハブなどのネットワーク機器の電源が入っているか確認してください。

E-2、E-3、E-7

メッセージ：

指定のネットワーク(SSID)が見つかりません。 アクセスポイントの電源およびネットワーク(SSID)を確認してください。 不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。

指定のネットワーク(SSID)が見つかりません。 接続するパソコンのネットワーク(SSID)を確認してください。 不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。

セキュリティーキーを確認してください。 不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。

対処方法：

- アクセスポイントの電源が入っているか確認してください。
- コンピューターやその他の機器とアクセスポイントが正常に通信できているか確認してください。
- アクセスポイントの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。
- プリンターとアクセスポイントは近くに置き、間にある障害物は取り除いてください。
- SSIDを直接入力したときは、入力した SSID が正しいかを確認してください。SSID はネットワーク接続診断レポートの [ネットワーク設定情報] で確認できます。
- プッシュボタン自動設定で設定するときは、お使いのアクセスポイントがAOSS/WPSに対応しているか確認してください。アクセスポイントがAOSS/WPSに対応していないときは、プッシュボタン自動設定では設定できません。
- SSIDにASCII文字（半角英数字、記号）以外の文字列が使われていないか確認してください。プリンターは、ASCII文字以外の文字列が含まれたSSIDは表示できません。
- アクセスポイントに接続する場合は、SSIDとパスワードを事前に確認してください。アクセスポイントをメーカー設定値のまま使用している場合は、ラベルなどに書かれているSSIDとパスワードが設定されています。SSIDとパスワードがわからない場合は、アクセスポイントを設定した人に確認するか、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
- スマートデバイスなどのテザリング機能で生成したSSIDに接続したい場合は、スマートデバイスのマニュアルなどでSSIDとパスワードを確認してください。
- 無線LAN（Wi-Fi）で突然接続できなくなった場合は、以下を確認してください。どれかに当てはまる場合は、以下のウェブサイトでインストーラーをダウンロードして、ネットワーク設定をやり直してください。
<http://epson.sn> - [セットアップ]
 - お使いのネットワーク環境で、新たに別のスマートデバイスからプッシュボタン自動設定（AOSS/WPS）で設定した
 - この無線LAN（Wi-Fi）ネットワークは、プッシュボタン自動設定以外の方法で設定した
 - 株式会社バッファロー製のアクセスポイントで、プッシュボタンで設定（AOSS）できるタイプを使っている

E-5

メッセージ：

セキュリティーの種類を確認してください。 不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。

対処方法：

アクセスポイントが以下のいずれかのセキュリティ方式になっているかを確認してください。なっていない場合は、以下のセキュリティ方式を使用するようアクセスポイントの設定を変更し、プリンターのネットワーク設定をし直してください。

- WEP-64 bit (40 bit)
- WEP-128 bit (104 bit)
- WPA PSK (TKIP/AES)*
- WPA2 PSK (TKIP/AES)*
- WPA (TKIP/AES)
- WPA2 (TKIP/AES)

* WPA PSKはWPA Personal、WPA2 PSKはWPA2 Personalとも呼ばれます。

E-6

メッセージ：

アクセスポイントに管理者としてログインし、MACアドレスフィルタリング機能が有効に設定されていないか確認してください。有効に設定されていると、事前に登録されたMACアドレス以外は接続できません。不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。

対処方法：

- MACアドレスフィルタリングが無効になっていることを確認してください。有効の場合は、プリンターのMACアドレスを登録してフィルタリングされないようにしてください。詳しくはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。プリンターのMACアドレスはネットワーク接続診断レポートの「ネットワーク設定情報」で確認できます。
- アクセスポイントのWEPセキュリティ方式でShared認証が有効になっている場合は、認証キーおよびインデックスが正しいことを確認してください。

E-8

メッセージ：

IPアドレスが割り当てられていません。ネットワーク機器の設定を確認してください。不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。

対処方法：

- プリンターの TCP/IP 設定を**自動**にしているときは、アクセスポイントのDHCP を有効にしてください。
- プリンターの TCP/IP 設定を手動にしているときは、手動で設定した IP アドレスが有効範囲外 (0.0.0.0 など) のため、無効になっています。有効な IP アドレスをプリンターの操作パネル、または Web Configから設定してください。

E-9

メッセージ：

プリンターを利用するための機器との接続およびネットワーク設定を確認してください。EpsonNet Setupで設定し直すことをお勧めします。不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。

対処方法：

以下を確認してください。

- プリンターを利用する機器の電源が入っているか
- プリンターを利用する機器から、インターネットへのアクセスや、同じネットワーク上の他のコンピューター、ネットワーク機器にアクセスできるか

上記を確認してもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、アクセスポイントの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。続いて、以下のウェブサイトでインストーラーをダウンロードして、ネットワーク設定をやり直してください。

<http://epson.sn> - [セットアップ]

E-10

メッセージ：

プリンターを利用するための機器との接続、およびプリンターのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定を確認してください。EpsonNet Setupで設定し直すことをお勧めします。不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか
- プリンターのTCP/IP設定を手動設定にしているときは、ネットワークアドレス（IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか

ネットワークアドレスが間違っている場合は、設定し直してください。IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイはネットワーク接続診断レポートの [ネットワーク設定情報] で確認できます。

DHCP を有効にしているときは、プリンターのTCP/IP設定でIPアドレスを自動にしてください。IP アドレスを手動で設定したい場合は、ネットワーク接続診断レポートの [ネットワーク設定情報] でプリンターの IP アドレスを確認し、プリンターのネットワーク設定画面で手動を選択して、設定してください。サブネットマスクは「255.255.255.0」に設定してください。

それでもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、アクセスポイントの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。

E-11

メッセージ：

プリンターのデフォルトゲートウェイの設定を確認してください。EpsonNet Setupで設定し直すことをお勧めします。不明なときはネットワーク設定を行った方にご確認ください。

対処方法：

以下を確認してください。

- プリンターのTCP/IP設定を手動にしたときは、プリンターに設定されたデフォルトゲートウェイのアドレスが正しいか
- デフォルトゲートウェイに指定した機器の電源が入っているか

デフォルトゲートウェイのアドレスを正しく設定してください。プリンターのデフォルトゲートウェイのアドレスはネットワーク接続診断レポートの「ネットワーク設定情報」で確認できます。

E-12

メッセージ：

以下を確認してください。不明なときは設定を行った方にご確認ください。・プリンターのセキュリティキーの入力が正しいか・アクセスポイントに複数のセキュリティキーが設定されている場合、最初（1番目）のインデックスのセキュリティキーがプリンターに設定されているか・プリンターのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定が正しいか

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか
- 手で設定したプリンターのネットワークアドレス（IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか
- 他の機器のネットワークアドレス（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が同一になっているか
- 他の機器のIPアドレスと重複していないか

上記を確認してもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、以下の対処を試してみてください。

- アクセスポイントの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れます。
- インストーラーを使って、ネットワーク設定をやり直してください。インストーラーは以下のウェブサイトから起動できます。

<http://epson.sn> - [セットアップ]

- セキュリティタイプ「WEP」は、アクセスポイントに複数のセキュリティキーを登録できます。複数のキーが登録されているときは、最初（1番目）のインデックスのセキュリティキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

E-13

メッセージ：

以下を確認してください。不明なときは設定を行った方にご確認ください。 ・ プリンターのセキュリティキーの入力が正しいか ・ アクセスポイントに複数のセキュリティキーが設定されている場合、最初（1番目）のインデックスのセキュリティキーがプリンターに設定されているか ・ プリンターを利用するための機器との接続およびネットワーク設定が正しいか

対処方法：

以下を確認してください。

- ・ ネットワーク機器（アクセスポイント、ハブ、ルーターなど）の電源が入っているか
- ・ プリンター以外のネットワーク機器が手動でTCP/IP設定されていないか（他のネットワーク機器のTCP/IP設定が手動で、プリンターのTCP/IP設定のみ自動設定になっていると、プリンターだけが異なるネットワークになってしまう可能性があります。）

問題がないときは、以下をお試しく下さい。

- ・ アクセスポイントの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れます。
- ・ プリンターと同じネットワーク上のコンピューターで、インストーラーを使ってネットワーク設定をし直してください。インストーラーは以下のウェブサイトから起動できます。
<http://epson.sn> - [セットアップ]
- ・ セキュリティタイプ「WEP」は、アクセスポイントに複数のセキュリティキーを登録できます。複数のキーが登録されているときは、最初（1番目）のインデックスのセキュリティキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

ネットワーク環境に関するメッセージ

メッセージ	対処方法
* 指定のネットワーク(SSID)が複数見つかりました。ご確認ください。	複数のアクセスポイントに同じSSIDが設定されている可能性があります。アクセスポイントの設定を確認して、SSIDを変更してください。
*無線環境の改善が必要です。アクセスポイントの電源を入れ直してください。それでも解消しないときはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。	プリンターをアクセスポイントの近くに移動して、アクセスポイントの電源を切ります。約10秒待ってから電源を入れます。それでも接続できない場合は、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
*無線接続が可能な機器数の上限に達しています。機器を追加したいときは、他の機器の接続を解除してください。	Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続で同時接続できる無線機器は4台までです。他のコンピューターやスマートデバイスを追加するには、プリンターを使用していないコンピューターやスマートデバイスの接続を解除してから追加してください。

ネットワークステータスシートを印刷する

ネットワークステータスシートを印刷すると、プリンターのネットワーク情報や状態を確認できます。

1. 印刷用紙をセットします。
2. ホーム画面で「設定」を選択します。
3. 「[システム管理設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク情報] - [ステータスシート印刷]」の順に選択します。
4. ▲ ボタンを押します。
ネットワークステータスシートが印刷されます。

ソフトウェア使用時のトラブル

Web Configにアクセスできない

プリンターにIPアドレスを設定していますか？

EpsonNet Configまたはプリンターの操作パネルでIPアドレスを設定してください。現在の設定は、ネットワークステータスシートやプリンターの操作パネルで確認できます。

SSL/TLSの暗号強度に対応するメッセージ暗号化に、Webブラウザが対応していますか？

SSL/TLSの暗号強度に対応するメッセージ暗号化は以下の通りです。以下のメッセージ暗号化をサポートしているブラウザで、Web Configを起動できます。ブラウザの暗号強度の対応ビットをご確認ください。

- 80ビット: AES256/AES128/3DES
- 112ビット: AES256/AES128/3DES
- 128ビット: AES256/AES128
- 192ビット: AES256
- 256ビット: AES256

Web ConfigにSSL通信 (https) で接続したときに「有効期限が切れている」と表示されましたか？

証明書の有効期限が切れていたら証明書を取得し直してください。証明書の有効期限内に表示されるときは、プリンターの時刻が正しく設定されているか確認してください。

Web ConfigにSSL通信 (https) で接続したときに「セキュリティ証明書の名前が一致しません....」と表示されましたか？

自己署名証明書またはCSRの作成時に「[コモンネーム]」で記述したアドレスとブラウザに入力したアドレスが一致していません。証明書を取得し直すか、プリンター名を変更してください。

プリンターをプロキシサーバー経由で使用していますか？

プリンターでプロキシサーバーを使用する設定にしている場合、ブラウザのプロキシサーバーの設定が必要です。

- Windows :
[コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [インターネットオプション] - [接続] - [LANの設定] の [プロキシ サーバー] で、ローカルアドレスにプロキシサーバーを使わない設定にします。

- Mac OS :
[システム環境設定] - [ネットワーク] - [詳細] - [プロキシ] で [プロキシ設定を使用しないホストとドメイン] にローカルアドレスを登録します。
設定例：
ローカルアドレス192.168.1.XXX、サブネットマスク255.255.255.0 の場合：192.168.1.*
ローカルアドレス192.168.XXX.XXX、サブネットマスク255.255.0.0 の場合：192.168.*.*

関連情報

- ➔ [「Web Configの起動」 27ページ](#)
- ➔ [「IPアドレスを設定する」 15ページ](#)
- ➔ [「EpsonNet ConfigでIPアドレスを設定する」 76ページ](#)

EpsonNet Configで製品名やIPアドレスが表示されない

Windowsセキュリティの重要な警告画面やファイアウォールソフトが表示した画面で、[ブロックする]、[キャンセル] や [遮断する] を選択しましたか？

[ブロックする]、[キャンセル] や [遮断する] を選択すると通信ができなくなるため、EpsonNet Config または EpsonNet Setupで製品名が表示されません。

通信を可能にするには、Windowsファイアウォールや市販のセキュリティソフトでEpsonNet Configを例外アプリケーションとして登録してください。それでも表示できないときは、市販のセキュリティソフトを終了してからEpsonNet Configを再度起動してください。

通信エラーのタイムアウトが短い設定になっていませんか？

EpsonNet Configの [ツール] - [オプション] - [タイムアウト] で、[通信エラー] とする時間を大きい値に変更してみてください。ただし、検索に時間がかかるためEpsonNet Configの動作は遅くなります。

関連情報

- ➔ [「EpsonNet Configの起動 - Windows」 76ページ](#)
- ➔ [「EpsonNet Configの起動 - Mac OS」 76ページ](#)

クラウドサービス使用時のトラブル

クラウドサービスを利用できなくなった

以下のメッセージが操作パネルに表示されますか？

サービス利用には、ルート証明書のアップデートが必要です。

このメッセージが表示された場合は、Web Configで [ネットワークセキュリティ] タブ- [ルート証明書更新] を選択し、[開始] をクリックしてアップデートしてください。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 27ページ](#)

セキュア環境への接続時のトラブル

セキュアIPP印刷のポートが作成できない

正しい証明書をSSL/TLSのサーバー証明書に指定しましたか？

正しい証明書が指定されていないとポート作成に失敗する場合があります。証明書が正しいか確認してください。

プリンターを使用するコンピューターにCA証明書がインポートされていますか？

コンピューターにCA証明書がインポートされていないと、ポート作成に失敗する場合があります。CA証明書がインポートされているか確認してください。

関連情報

➡ [「プリンターとのSSL/TLS通信」 45ページ](#)

電子証明書使用時のトラブル

CA署名証明書のインポートができない

入手したCA 署名証明書と作成したCSRの情報が一致していますか？

CA署名証明書とCSRは、不一致の情報の場合インポートできません。以下の点を確認してください。

- 同時に複数の機器でCSRを作成した場合、一致しない機器に証明書をインポートしようとしていませんか？
情報を確認して、一致する機器にインポートしてください
- CA局にCSRを送付した後、プリンターに保存されているCSRを再生成しましたか？
再生成したCSRでCA署名証明書を取得し直してください。

入手したCA署名証明書のファイル容量が5KBを超えていませんか？

5KBを超えるCA署名証明書は、インポートできません。

証明書をインポートする際のパスワードは正しいですか？

パスワードを忘れた場合、証明書をインポートできません。

関連情報

➡ [「CA署名証明書をインポートする」 48ページ](#)

自己署名証明書が更新できない

コモンネームが未入力ではありませんか？

「コモンネーム」は必ず入力してください。

コモンネームに入力可能な文字以外（例：日本語）を入力していませんか？

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式をASCII (0x20-0x7E)で表せる1～128文字以内で指定します。

コモンネームにカンマやスペースを使用していませんか？

カンマが入力されると「コモンネーム」はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

関連情報

➡ [「自己署名証明書を更新する」50ページ](#)

CSRが作成できない

コモンネームが未入力ではありませんか？

「コモンネーム」は必ず入力してください。

コモンネーム、組織名、部署名、市町村名、都道府県名に入力可能な文字以外を入力していませんか？例えば日本語は使えません。

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式をASCII (0x20-0x7E)で表せる文字で指定します。

コモンネームにカンマやスペースを使用していませんか？

カンマが入力されると「コモンネーム」はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

関連情報

➡ [「CA署名証明書を取得する」46ページ](#)

証明書に関する警告が表示された

メッセージ	原因と対処
サーバー証明書を指定してください。	原因： インポートするファイルが指定されていません。 対処： ファイルを選択してから「インポート」をクリックしてください。

トラブルを解決する

メッセージ	原因と対処
CA証明書1の参照先を入力してください。	原因： CA証明書1が未入力で、CA証明書2が入力されています。 対処： 先にCA証明書1をインポートしてください。
以下の入力値が正しくありません。	原因： ファイルパスやパスワードに不正な文字が含まれています。 対処： 表示された項目に入力した文字が正しいか確認してください。
日付/時刻が設定されていません。	原因： プリンターに日付や時刻が設定されていません。 対処： Web ConfigやEpsonNet Configまたはプリンターの操作パネルから日付や時刻を設定してください。
パスワードが正しくありません。	原因： CA証明書に設定されているパスワードと入力したパスワードが一致しません。 対処： 正しいパスワードを入力してください。
不正なファイルです。	原因： インポートしようとしたファイルがX509形式の証明書ではありません。 対処： 信頼されたCA局から送付された証明書ファイルを選択しているか確認してください。
	原因： インポートできるファイルサイズを超えています。インポートできるファイルサイズは5KBです。 対処： ファイルが正しい場合、証明書が破損していたり改ざんされていたりする可能性があります。
	原因： 証明書に含まれるチェーンが不正です。 対処： 証明書の詳細はCA局のWebサイトをご覧ください。
3つ以上のCA証明書が含まれたサーバー証明書は使用できません。	原因： PKCS#12形式の証明書ファイルに3つ以上のCA証明書が含まれています。 対処： PKCS#12形式から複数のPEM形式に変換して個別にインポートするか、2つ以下のCA証明書でPKCS#12形式ファイルを再作成してインポートしてください。
有効期間外の証明書です。証明書の有効期間、またはプリンターの日付/時刻設定を確認してください。	原因： 証明書の有効期限が切れています。 対処： - 証明書の有効期限が切れている場合、新しい証明書をCA局から取得してインポートしてください。 - 証明書の有効期限が切れていない場合、プリンターの日付や時刻の設定が正しいか確認してください。

メッセージ	原因と対処
秘密鍵が必要な証明書ファイルです。	原因： 証明書と対になった秘密鍵がありません。 対処： • コンピューターで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書の場合、秘密鍵ファイルを指定してください。 • コンピューターで生成したCSRで取得したPKCS#12形式の証明書の場合、秘密鍵を含めたファイルを作成してください。
	原因： Web Configで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書を再度インポートしようとした。 対処： Web Configで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書は、一度しかインポートできません。
設定に失敗しました。	原因： プリンターとコンピューターの通信が遮断された、何らかの原因でファイルが読み取りできない、などの原因で正しく設定できませんでした。 対処： 指定しているファイルや通信状況を確認して、再度インポートしてください。

関連情報

➡ [「使用できる電子証明書」 45ページ](#)

CA署名証明書を誤って削除した

CA署名証明書をバックアップ保存したファイルがありますか？

CA署名証明書をバックアップ保存したファイルがあれば、それを使って再度インポートしてください。

Web Configで生成したCSRで取得した証明書は、一度削除してしまうと再インポートができません。CSRを再生成して証明書を取得し直してください。

関連情報

➡ [「CA署名証明書を削除する」 50ページ](#)

➡ [「CA署名証明書をインポートする」 48ページ](#)

付録

ネットワーク関連のソフトウェア

デバイスの設定、管理用のソフトウェアを紹介します。

Epson Device Admin

Epson Device Adminは、デバイスのネットワークへの導入、設定、管理ができるアプリケーションソフトです。デバイスのステータスや消耗品情報などの詳細情報を把握し、アラートを通知したり、使用状況をレポートしたりできます。デバイスの詳細項目設定をテンプレートにして、デバイスに統一した設定値を適用できます。Epson Device Adminはエプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。詳細はEpson Device Adminのヘルプやマニュアルをご覧ください。

Epson Device Adminの起動（Windowsのみ）

[すべてのプログラム] - [EPSON] - [Epson Device Admin] から [Epson Device Admin] を選択します。

参考 Windowsファイアウォールの警告画面が表示された場合は、Epson Device Adminを例外のプログラムに登録してください。

EpsonNet Config

EpsonNet Configは、IPアドレスのアサインや接続形態の変更などプリンターのネットワーク設定ができるアプリケーションソフトです。Windows版はバッチファイルを使用して複数台のプリンターを同時に設定できます。詳細はEpsonNet Configのヘルプやマニュアルをご覧ください。



EpsonNet Configの起動 - Windows

[すべてのプログラム] - [EpsonNet] - [EpsonNet Config SE] から [EpsonNet Config] を選択します。

参考 Windowsファイアウォールの警告画面が表示された場合は、EpsonNet Configを例外のプログラムに登録してください。

EpsonNet Configの起動 - Mac OS

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [EpsonNet] - [EpsonNet Config SE] から [EpsonNet Config] を選択します。

EpsonNet Print (Windowsのみ)

TCP/IP上でネットワーク印刷するためのソフトウェアです。以下のような機能や制限があります。詳細はエプソンのウェブサイトをご覧ください。

- スプーラー画面にプリンターのステータスが表示できます。
- DHCP機能によって変更されたIPアドレスを自動追従します。
- ルーターを越えた場所（別セグメント）のプリンターも使用できます。
- 印刷データの送信プロトコルが使い分けられます。
- IPv6アドレスには対応していません。

EpsonNet SetupManager

ネットワークプリンターのドライバーやEPSONプリンターウィンドウ！3のインストールから印刷ポートの設定までを自動で実行するパッケージを作成するソフトウェアです。環境の異なるドライバーのパッケージを一括して作成できるため、ドライバーの配布やインストール、設定など管理者が行う環境構築作業を大幅に軽減できます。

詳細はエプソンのウェブサイトをご覧ください。

EpsonNet ConfigでIPアドレスを設定する

EpsonNet Configを使ってプリンターのIPアドレスを設定できます。EpsonNet Configを使うと IPアドレスを設定していないプリンターにLANケーブルで接続してからIPアドレスを割り当てられます。無線LANに接続する場合は、一旦有線LANで接続して接続形態を変更します。

一括でIPアドレスを設定する

一括設定するためのファイルを作成する

MAC アドレスと機種名をキーにして、IPアドレスを設定するための SYLKファイルを作成します。

プリンターを無線LANで使用する場合は、以下の手順でIPアドレスを割り当てた後、無線LAN接続に変更してください。

1. 表計算ソフト（Microsoft Excel）またはテキストエディターを起動します。
2. 設定項目名として「Info_MACAddress」（MAC アドレス）と「Info_ModelName」（機種名）、「TCPIP_IPAddress」（IP アドレス）を 1 行目に入力します。
設定項目は、以下の文字列通りに入力してください。大文字/小文字、全角/半角を識別するため、1文字でも異なると設定項目として認識されません。
以下の設定項目を入力することで、EpsonNet Configが各行に記載される情報の意味を判断します。

Info_MACAddress	Info_ModelName	TCPIP_IPAddress

3. 各行に MACアドレスと機種名、設定したい IPアドレスを入力します。

Info_MACAddress	Info_ModelName	TCPIP_IPAddress
0000XXXX0001	ALC-XXXXXX	192.168.100.102
0000XXXX0002	ALC-XXXXXX	192.168.100.103
0000XXXX0003	ALC-XXXXXX	192.168.100.104

4. 任意の名称で SYLKファイル（拡張子 .slk）として保存します。

設定ファイルを適用して一括設定する

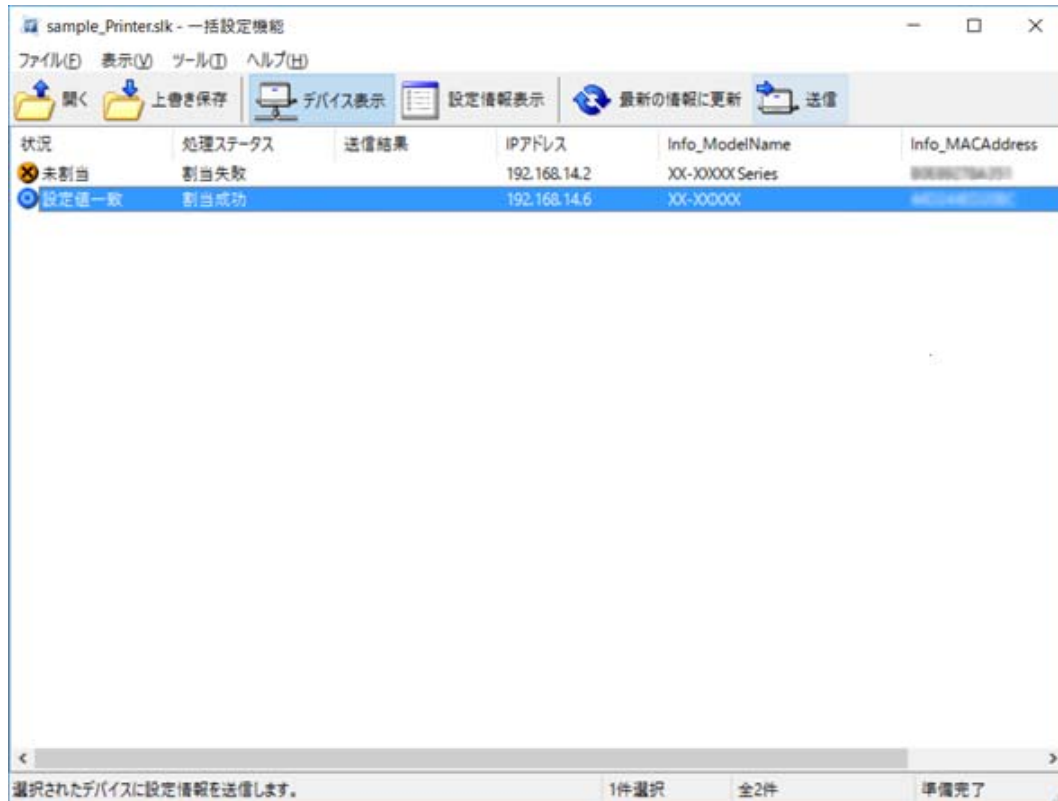
設定ファイル（SYLKファイル）に記載した IPアドレスを、一括してプリンターに割り当てます。あらかじめ設定ファイルを作成しておきます。

プリンターを無線LANで使用する場合は、以下の手順でIPアドレスを割り当てた後、無線LAN接続に変更してください。

1. LANケーブルで全てのデバイスをネットワークに接続します。
2. プリンターの電源を入れます。
3. EpsonNet Configを起動します。
ネットワーク上のプリンターが一覧表示されます。表示に時間がかかることがあります。
4. [ツール] - [一括設定] をクリックします。
5. [開く] をクリックします。

6. ファイル選択画面で、設定値を記述した SYLK ファイル（拡張子.slk）を選択してから、[開く] をクリックします。
7. [状況] の欄が[未割当]、[処理ステータス] が[割当成功] となっているデバイスの中から、一括設定するデバイスを選択します。

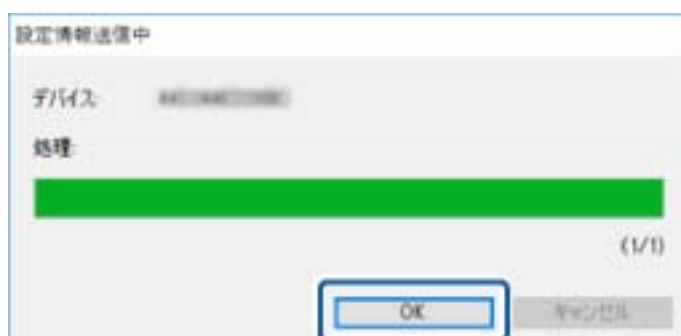
複数選択するときは、マウスでドラッグするか、CtrlキーまたはShiftキーを押したままクリックして選択します。



8. [送信] をクリックします。
9. パスワード入力画面が表示されたときは、パスワードを入力して [OK] をクリックします。
設定が送信されます。

！重要 プログレスバーが終了するまではネットワークインターフェイスに情報が送られています。デバイスまたは無線アダプターの電源を切ったり、データをデバイスに送ったりしないでください。

10. [設定情報送信中] 画面で [OK] をクリックします。



11. 設定したデバイスの状況を確認します。

 や  が表示された デバイスは、設定ファイルの記載内容やデバイスが正常に再起動したか確認してください。

アイコンの 状態	状況	処理ステータス	説明
	設定完了	設定成功	正常に設定が完了しました。
	設定完了	復帰確認中	情報を送信すると設定を有効にするために各デバイスが再起動されます。再起動後正常に接続できるか確認しています。
	設定完了	復帰確認失敗	設定送信後にデバイスが確認できません。デバイスの電源が入っているか、正常に再起動したか確認してください。
	設定完了	探索中	設定ファイルに記載されているデバイスを探索中です。*
	設定完了	探索失敗	既に設定が完了したデバイスが確認できません。デバイスの電源が入っているか、正常に再起動したか確認してください。*

*：設定情報表示時のみ

関連情報

- ➔ [「EpsonNet Configの起動 - Windows」 76ページ](#)
- ➔ [「EpsonNet Configの起動 - Mac OS」 76ページ](#)

IPアドレスを個別に設定する

EpsonNet ConfigでプリンターのIPアドレスを設定します。

1. プリンターの電源を入れます。
2. LANケーブルでプリンターをネットワークに接続します。
3. EpsonNet Configを起動します。
ネットワーク上のプリンターが一覧表示されます。表示に時間がかかることがあります。
4. 設定するプリンターをダブルクリックします。

 **参考** 同じ製品名のプリンターを複数台接続した場合は、MACアドレスで識別できます。

5. 左のメニューから [ネットワーク] - [TCP/IP] - [基本] を選択します。

6. [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]を設定します。



参考 セキュアなネットワークにプリンターを接続する場合は、固定アドレスを設定してください。

7. [送信] をクリックします。

設定情報の送信を確認する画面が表示されます。

8. [OK] をクリックします。

送信完了の画面が表示されます。

参考 「設定は正常に更新されました。」のメッセージが表示されるまではデバイスに情報を送っています。デバイスの電源を切ったり、データをデバイスに送ったりしないでください。

9. [OK] をクリックします。

関連情報

- ➡ [「EpsonNet Configの起動 - Windows」 76ページ](#)
- ➡ [「EpsonNet Configの起動 - Mac OS」 76ページ](#)

操作パネルを使って無線LANに接続する（WPS）

プリンターの操作パネルでWPS機能を使った無線LAN接続ができます。

関連情報

- ➡ [「プッシュボタンで自動設定する（AOSS/WPS）」 81ページ](#)
- ➡ [「PINコードで設定する\(WPS\)」 81ページ](#)

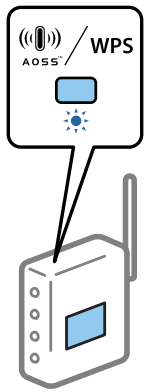
プッシュボタンで自動設定する (AOSS/WPS)

アクセスポイントのプッシュボタンで自動設定する方法です。以下の条件に当てはまる場合は、この方法で設定できます。

- アクセスポイントがAOSSやWPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応している
- 既存の無線LAN (Wi-Fi) をプッシュボタンで設定している

参考 プッシュボタンの位置がわからない、またはプッシュボタンがなくソフトウェアで操作する場合は、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

1. ホーム画面で [無線LAN] を選択します。
2. [プッシュボタン自動設定(AOSS/WPS)] を選択します。
3. アクセスポイントのプッシュボタンをランプが点滅するまで押します。



プッシュボタンの位置がわからない、またはボタンが見当たらない場合は、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

4. プリンターの操作パネルの OK ボタンを押します。
5. OK ボタンを押します。

OK ボタンを押さなくても、しばらくすると画面は切り替わります。

参考 接続に失敗した場合はアクセスポイントを再起動し、プリンターに近付けてから再度設定してください。それでも解決しないときは、ネットワーク接続診断レポートを印刷して対処方法を確認してください。

PINコードで設定する(WPS)

PINコードを使ってアクセスポイントに接続する方法です。アクセスポイントがWPS(Wi-Fi Protected Setup)に対応している場合は、この方法で設定できます。PINコードをアクセスポイントに入力するときに、コンピューターを使います。

1. ホーム画面で [無線LAN] を選択します。

2. [PINコード自動設定(WPS)] を選択します。
3. プリンターに表示されているPINコード（8桁の数字）を、2分以内にコンピューターからアクセスポイントに入力します。

参考 PINコードの入力方法は、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

4. OKボタンを押します。

設定完了のメッセージが表示されたら終了です。

参考 接続に失敗した場合はアクセスポイントを再起動し、プリンターに近付けてから再度設定してください。それでも解決しないときは、ネットワーク接続診断レポートを印刷して対処方法を確認してください。

接続方法を変更する

既存のネットワーク接続方法を変更します。ネットワークが正常に動いている状態で変更してください。IPアドレス取得を手動設定にしている場合、接続変更するネットワークで同じIPアドレスが使えるか、ネットワーク管理者に確認してから操作を始めてください。

参考 無線LANを有効にすると、有線LANは無効になります。

関連情報

- ➡ [「有線LANから無線LANへの接続変更」 82ページ](#)
- ➡ [「無線LANから有線LANへの接続変更」 83ページ](#)

有線LANから無線LANへの接続変更

操作パネルで無線LAN接続に変更する

プリンターの操作パネルで有線LAN接続から無線LAN接続に変更します。変更方法は操作パネルを使った無線LAN接続設定と同じです。このマニュアル内の無線LAN接続設定の説明をご覧ください。

関連情報

- ➡ [「操作パネルから無線LAN（Wi-Fi）を手動で設定する」 22ページ](#)

Web Configで無線LAN接続に変更する

Web Configを使って有線LANから無線LANに接続変更します。

1. Web Configで[ネットワーク] タブ - [無線LAN] を選択します。

管理者パスワードが設定されている場合は、ユーザー名とパスワードを入力して管理者としてログオンします。

2. 「設定」をクリックします。
3. 表示されたSSIDの一覧から接続したいネットワーク（SSID）を選択して、パスワードを入力します。
アクセスポイントの設定によってはSSIDが表示されないことがあります。その場合は「SSID入力」を選択して、接続するSSIDを直接入力してください。
4. 「次へ」をクリックします。
5. 表示された内容を確認して「設定」をクリックします。
6. プリンターに接続されているLANケーブルを抜きます。

 **参考** EpsonNet ConfigやEpson Device Adminなどのツールを使用して接続変更することもできます。詳細はツールのマニュアルやヘルプをご覧ください。

関連情報

- ➔ [「Web Configの起動」 27ページ](#)
- ➔ [「EpsonNet Config」 75ページ](#)
- ➔ [「Epson Device Admin」 75ページ](#)

無線LANから有線LANへの接続変更

操作パネルで有線LAN接続に変更する

プリンターの操作パネルを使って無線LANから有線LANに接続を変更します。以下の順番で操作してください。手順の詳細は、各説明ページをご覧ください。

- 無線LANを無効にする
- IPアドレスを設定する
- LANに接続する

関連情報

- ➔ [「操作パネルから無線LANを無効にする」 58ページ](#)
- ➔ [「IPアドレスを設定する」 15ページ](#)
- ➔ [「有線LANで接続する」 21ページ](#)

Web Configで有線LAN接続に変更する

Web Configを使って無線LAN接続から有線LAN接続に変更します。

1. Web Configで「ネットワーク」タブ - 「無線LAN」を選択します。
管理者パスワードが設定されている場合は、ユーザー名とパスワードを入力して管理者としてログオンします。
2. 「無効にする」をクリックします。

3. メッセージを確認して、[OK] を選択します。
4. プリンターとハブ（L2スイッチ）をLANケーブルで接続します。

参考 EpsonNet ConfigやEpson Device Adminなどのツールを使用して接続変更することもできます。詳細はツールのマニュアルやヘルプをご覧ください。

関連情報

- ➡ [「Web Configの起動」 27ページ](#)
- ➡ [「EpsonNet Config」 75ページ](#)
- ➡ [「Epson Device Admin」 75ページ](#)

プリンターが使用するポート

プリンターは以下のポートを使用します。必要に応じてあらかじめネットワーク管理者にポート使用を許可してもらいます。

送信元（クライアント）	用途	送信先（サーバー）	プロトコル	ポート番号
プリンター	Epson Connectを利用した機能の利用	Epson Connectサーバー	HTTPS	443
			XMPP	5222
	Googleクラウドプリントからの印刷	Google Cloud Printサーバー	HTTPS	443
			XMPP	5222
	WSDの制御	クライアントコンピュータ	WSD (TCP)	5357
クライアントコンピュータ	EpsonNet Configなどのアプリケーションソフト、プリンタードライバーからのプリンター探索	プリンター	ENPC (UDP)	3289
	EpsonNet Configなどのアプリケーションソフト、エプソンのプリンタードライバーからの、MIB情報の取得と設定	プリンター	SNMP (UDP)	161
	LPRデータの転送	プリンター	LPR (TCP)	515
	RAWデータの転送	プリンター	RAW (Port9100) (TCP)	9100
	AirPrint (IPP/PPS印刷) のデータの転送	プリンター	IPP/PPS (TCP)	631
	WSDのプリンター探索	プリンター	WS-Discovery (UDP)	3702

操作パネルの管理者用設定メニュー

操作パネルの管理者用の設定メニューで表示される項目は以下の通りです。 () は初期値です。

管理者パスワードが設定されていると、これらの項目はロックされています。操作するには、管理者としてプリンターにログインしてください。

[設定] - [管理者設定]

管理者パスワード	新規設定*1		
	変更*2		
	初期化*2		
管理者ロック			(オフ)

*1パスワードが設定されていないときに表示

*2パスワードが設定されているときに表示

[設定] - [システム管理設定]

プリンター設定	自動エラー解除		(オフ)
	コンピューターのUSB接続		(有効)
共通設定	スリープ移行時間設定		(1分)
	自動電源オフ		(設定しない)
	LCDコントラスト調整		(9)
	日付/時刻設定	日付/時刻	
		時差	
	言語選択		(日本語)
	スクロール速度調整		(標準)

付録

ネットワーク設定	ネットワーク情報	有線・無線接続状態	
		Wi-Fi Direct接続状態	
		Epson Connect設定情報	
		Googleクラウドプリント設定情報	
		ステータスシート印刷	
	無線LAN設定	手動設定	
		プッシュボタン自動設定(AOSS/WPS)	
		PINコード自動設定(WPS)	
		カンタン自動設定	
		無線LANを無効にする	
		Wi-Fi Direct設定	
	ネットワーク接続診断		
	ネットワーク詳細設定	デバイス名	
		TCP/IPアドレス	(自動)
		DNSサーバー	(自動)
		プロキシサーバー	(使用しない)
		IPv6アドレス	(有効)
		NFC	(有効)
		Link Speed & Duplex	(自動)
		HTTPをHTTPSにリダイレクト	(有効)
Epson Connect設定	プリンターの登録/削除		
	サービス利用の一時停止/再開		
	情報確認		
Googleクラウドプリント設定	サービスの一時停止/再開		
	登録削除		
	情報確認		

付録

モバイル(PC)機器印刷設定	上オフセット設定		(0mm)
	左オフセット設定		(0mm)
	裏面上オフセット設定		(0mm)
	裏面左オフセット設定		(0mm)
	紙幅チェック印刷		(オフ)
	両面・乾燥時間		(標準)
	白紙節約モード		(オフ)
初期設定に戻す	ネットワーク設定		
	全て初期化		
ファームウェアのアップデート	アップデート		
	現在のバージョン		
	定期通知設定		(オン)